

群馬県

新たな文化拠点検討のための基礎調査 報告書

【資料編】

令和8年3月

目次

I.	国及び群馬県の上位計画、関係法令等.....	2
1.	国の上位計画、関係法令等	2
2.	群馬県の上位計画、関係法令等.....	4
II.	公立文化施設の整備・管理運営手法.....	5
III.	県民の文化芸術活動に係るニーズ調査（アンケート結果詳細）	7
IV.	子ども向けアンケート調査（調査結果掲載先）	23
V.	県内市町村の文化施設に係る調査（アンケート結果詳細）	24
1.	調査概要	24
2.	調査結果	28
VI.	国内の文化施設に係る事例調査	40
VII.	旧県民会館の利用団体向けアンケート調査（アンケート結果詳細）	41
VIII.	旧県民会館の活用可能性に係る調査	47

I. 国及び群馬県の上位計画、関係法令等

1. 国の上位計画、関係法令等

国における計画各種、関連法令等として本編に記載したものは以下の通りである。

<国の主な法令・計画・指針の概要（順不同）¹>

国の法令・計画・指針等	主な記載内容
文化芸術基本法 （文化庁、平成 13 年 12 月施行、平成 29 年 6 月改正）	日本の文化政策全体の基本理念と、国・地方自治体の責務、推進体制、重点分野を定める基本法であり、平成 29 年改正時に名称が「文化芸術振興基本法」から「文化芸術基本法」に改められ、同法に定める対象と理念が拡張された。 国民が文化芸術を享受し、創造に参加する機会を広げ、心の豊かさや人生の充実、活力ある社会、地域の活性化、国際交流・発信、経済・産業への波及などに資するよう、総合的かつ計画的に文化芸術を推進することを定めた法律である。
文化芸術推進基本計画（第 2 期） （文化庁、令和 5 年 3 月閣議決定）	文化芸術基本法の規定に基づき、文化芸術に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために策定された基本計画である。 心豊かで活力ある社会を形成するため「文化芸術と経済の好循環」を実現すべく 7 つの重点取組を策定しており、文化施設等の「ハード」及びデジタル空間を含めた「場」の整備、文化芸術に関する創造的活動等の「ソフト」の充実、文化芸術の担い手を確保するための「人材」の育成・養成などに言及している。
文化芸術の振興に関する基本的な方針－文化芸術資源で未来をつくる－（第 4 次基本方針） （文化庁、平成 27 年 5 月閣議決定）	文化芸術振興基本法に基づき、今後 5 年間の文化政策の方向性を示したものであり、第 4 次基本方針（平成 27 年）までが策定された。 5 つの重点戦略として、「①文化芸術活動に対する効果的な支援」、「②文化芸術を創造し、支える人材の充実及び子供や若者を対象とした文化芸術振興策の充実」、「③文化芸術の次世代への確実な継承、地域振興等への活用」、「④国内外の文化的多様性や相互理解の促進」、「⑤文化芸術振興のための体制の整備」が定められ、特に②においては文化芸術を通じた子供や若者の「創造力」と「想像力」の育成や、学校における芸術教育の拡大、雇用の増大を念頭に置いた施設の運用人材の育成や、伝統文化を支える技術・技能の伝承者に対する支援が記載されている。

¹ 文化庁「文化芸術基本法」、同「文化芸術基本計画」、同「文化芸術の振興に関する基本的な方針－文化芸術資源で未来をつくる－（第 4 次基本方針）（平成 27 年 5 月 22 日閣議決定）」、同「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律について」、同「劇場、音楽堂等の事業の活性化のための取組に関する指針（平成 25 年文部科学省告示第 60 号）」

<p>劇場、音楽堂等の活性化に関する法律</p> <p>(文部科学省、平成 24 年 6 月施行、平成 29 年 6 月改正)</p>	<p>文化芸術振興基本法に則り、演劇、音楽、舞踊、伝統芸能などの実演芸術の水準向上と振興を図るため、劇場・音楽堂等の事業内容や国の基本施策等について定めた法律である。</p> <p>劇場、音楽堂等を「文化芸術を継承し、創造し、及び発信する場であり、人々が集い、人々に感動と希望をもたらし、人々の創造性を育み、人々が共に生きる絆を形成するための地域の文化拠点」として定め、また「新しい広場」として、地域コミュニティの創造と再生を通じて、地域の発展を支える機能も期待されているものとして、その位置づけを前文に記している。</p> <p>基本理念においては文化芸術の施策の推進における観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等との有機的な連携の必要性が定められている。</p> <p>条文内における地方公共団体の責務として、自主的かつ主体的に地域の特性に応じた施策を策定し、区域内の劇場、音楽堂等を積極的に活用することが述べられており、劇場等が地域の文化拠点としての役割を努めることも述べられている。</p>
<p>劇場、音楽堂等の事業の活性化のための取組に関する指針</p> <p>(文部科学省、平成 25 年 3 月告示)</p>	<p>上述の劇場法に基づき、劇場、音楽堂等における設置者又は運営者が、事業を進める際の目指すべき方向性を明らかにした指針である。</p> <p>運営方針の明確化や質の高い事業の実施、また運営等に係る専門的人材の養成の強化や、実演芸術に対する国民の関心と理解を深めるための教育活動及び啓発活動の実施等、事業活性化を図るために取り組むべき事項の指針が定められた。</p> <p>同法の施行から 10 年以上経過した現在、文化庁にて、今後 10 年間を見据えながら劇場・音楽堂等が「①地域の核」として、「②世界に響く芸術の拠点」として資するよう、文化施設としての運営強化や、施設において取り組まれる舞台芸術活動等の強化について検討するべく、同指針の見直しについて議論が行われている。</p>

2. 群馬県の上位計画、関係法令等

群馬県における計画各種、関連法令等として本編に記載したものは以下の通りである。

<群馬県の主な法令・計画・指針の概要（順不同）²>

群馬県の計画・指針等	主な記載内容
G-VISION 2040 -新・群馬県総合計画- （群馬県、令和2年12月にビジョンを、令和3年3月に基本計画を策定）	県民の幸福度の向上を目指した新しい総合計画。2040年の群馬県として目指す姿を「年齢や性別、国籍、障害の有無等にかかわらず、すべての県民が、誰一人取り残されることなく、自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる自立分散型の社会」と定め、ビジョン実現に向けたキーワードとして「快疎」「始動人」「官民共創コミュニティ」の3つを掲示している。さらに県が目指す教育として、自分の頭で未来を考える力・動き出す力・生き抜く力を持った人を掲げている。
群馬県文化基本条例 （群馬県地域創生部文化振興課、平成24年4月施行）	県議会における「文化県群馬」宣言の決議から約30年が経過したこと、全国で文化振興に関する条例が制定されていることを受けて、文化行政の目指すべき方向性を定めた条例である。 県の責務を明らかにするとともに、文化の振興に関する施策の基本となる事項を定めている。県民の文化活動の充足については「県は、県民が芸術文化を鑑賞する機会の充実を図るとともに、県民が自主的に文化活動を行うための機会及び情報の提供その他の必要な施策を講ずるものとする」とし、文化施設の機能の充足や文化活動の場の提供などについても規定している。
新・群馬県文化振興指針～アートの中で、他にはない価値を持ち、人々を惹きつける群馬の創造～ （群馬県地域創生部文化振興課、令和5年3月策定）	基本理念として、「誰もがクリエイティブにオリジナルな生き方ができる『ぐんまスタイル』の創造」を掲げ、政策目標として「文化を担う人づくり」、「ボーダーレスな地域創造」、文化資源と先端技術、アートを掛け合わせた「新たな価値の創出」を謳っている。
「群馬パーセントフォーアート」推進条例 （群馬県地域創生部文化振興課、令和5年4月施行）	県予算の一定割合をアート振興に充てることを明文化した全国初の条例。人材育成やアーティストが自立できる環境の整備、アートを触媒とした地域固有の歴史や風土・文化などの新たな価値の創造や地域経済の活性化を図るとともに、生み出された資金が次のアート振興へとつながる好循環を目指す。

² 群馬県「G-VISION 2040-新・群馬県総合計画-」、群馬県地域創生部文化振興課「群馬県文化基本条例」、同「新・群馬県文化振興指針～アートの中で、他にはない価値を持ち、人々を惹きつける群馬の創造～」、同「『群馬パーセントフォーアート』推進条例」

II. 公立文化施設の整備・管理運営手法

官民連携による整備・管理運営手法としての PPP/PFI について以下に補足する。

■ 官民連携（PPP/PFI）による整備・管理運営手法

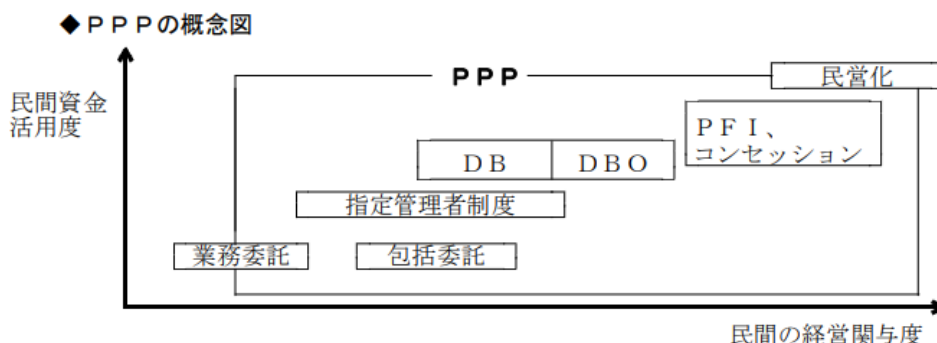
PPP は、公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的な使用や行政の効率化等を図るものである。

PPP の中には PFI、指定管理者制度、市場化テスト、公設民営（DBO）方式等の官民連携手法が含まれる。

PFI は PPP の一類型であり、PPP/PFI 手法は以下の特徴を有している。

- ①従来の官民の役割分担を見直すとともに、民間事業者の役割を大幅に拡大し、その主体性を幅広く認めるものであること
- ②協定等に基づき官民双方がリスクを分担すること
- ③民間事業者が事業実施に当たり相当程度の裁量を有し、創意工夫を活かすことで、事業の効率化やサービスの向上を図れること

図表 II-1 PPP の概要



< 主な PPP/PFI 手法 >

<p>民間事業者が公共施設等の運営等を担う手法</p>	<p>【指定管理者制度】 公共施設等の維持管理、運営等を、地方公共団体の指定する者（指定管理者）が代行する制度</p> <p>【包括的民間委託】 公共施設等の維持管理等を複数年契約で委託し、さらに、業務運営内容を受託者に委ねる「性能発注」により一連の業務を委託するもの</p> <p>【PFI（公共施設等運営権方式（コンセッション方式））】 利用料金の徴収を行う公共施設等について、公共施設の所有権を公共主体が有したまま、施設の運営権を民間事業者に設定する方式</p>
<p>民間事業者が公共施設等の設計、建設又は製造及び運営等を担う手法</p>	<p>【PFI（BTO 方式、BOT 方式、BOO 方式、RO 方式）】 公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術能力を活用して行う方式</p> <p>【DBO 方式（Design Build Operate）】 民間事業者に設計（Design）、建設（Build）及び運営（Operate）を一体的</p>

	<p>に委ね、資金の調達については、県が行う方式</p> <p>【ESCO 事業】</p> <p>民間資金を利用して既存施設の設備等の省エネルギー改修を実施し、光熱水費の削減分で改修工事に係る経費を賄い、更に余剰の光熱水費の削減分により、公共（施設所有者）と民間（ESCO 事業者）の利益を生み出す事業</p>
<p>民間事業者が公共施設等の設計及び建設又は製造を担う手法</p>	<p>【PFI（BT 方式（Build Transfer））】</p> <p>民間事業者が施設を建設（Build）し、施設完成直後に施設の所有権を県に移管（Transfer）する方式</p> <p>【DB（Design Build）】</p> <p>民間事業者に設計（Design）、建設（Build）を一括して委ね、施設の所有、資金の調達については県が行う方式</p>

III. 県民の文化芸術活動に係るニーズ調査（アンケート結果詳細）

■ 調査概要

調査目的	県民の文化ニーズを広く把握し、新たな文化拠点に必要な機能を決定する検討材料のひとつとすること
調査方法	WEB調査
調査対象者	群馬県在住の方
回答数	合計 982サンプル ※以下の40区分（4×5×2＝40区分）を設定し、群馬県の人口構成比にあわせて偏りがないよう回収 ①地域（4区分：中毛、西毛、東毛、北毛） ②年齢（5区分：18-29歳、30歳代、40歳代、50歳代、60-79歳） ③性別（2区分：男性・女性）
設問数	13問（本調査）
回収方法	群馬県在住のモニターにアンケートを配信し、区分ごとに必要回答数を先着順で回収
実施期間	令和7年9月5日（金）～10月6日（月）

■ 1,000 サンプルの各区分への割り当て

図表Ⅲ-1 目標回答数とアンケート回収結果

目標回答数（合計1,000サンプル）

	男性					女性				
	18-29歳	30代	40代	50代	60-79歳	18-29歳	30代	40代	50代	60-79歳
中毛地域	28	25	32	35	58	26	23	30	34	62
西毛地域	22	19	25	29	50	20	18	24	29	54
東毛地域	25	21	27	30	48	20	17	24	28	52
北毛地域	4	4	5	6	14	4	3	5	6	14

※目標回答数は、群馬県年齢別人口統計調査結果（R6.10.1現在）にもとづいて割り当て

回収結果（合計982サンプル）

	男性					女性				
	18-29歳	30代	40代	50代	60-79歳	18-29歳	30代	40代	50代	60-79歳
中毛地域	20	25	32	35	58	26	23	30	34	62
西毛地域	22	19	25	29	50	20	18	24	29	54
東毛地域	16	21	27	30	48	20	17	24	28	52
北毛地域	3	4	5	6	14	4	3	5	6	14

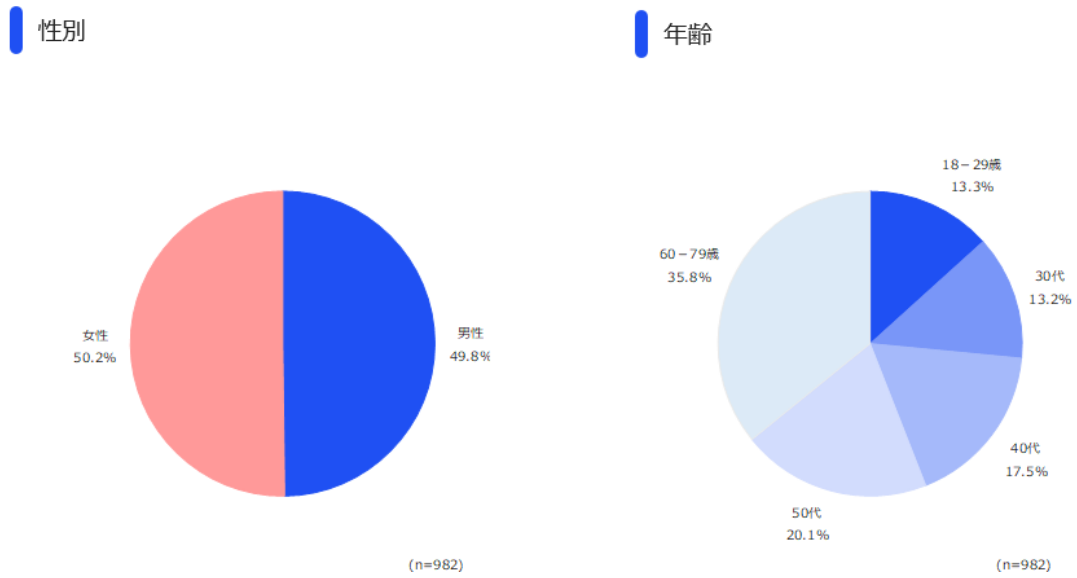
※中毛地域、東毛地域、北毛地域の「男性18-29歳」のセルにおいて、計18サンプルの不足が発生

■ アンケート冒頭説明

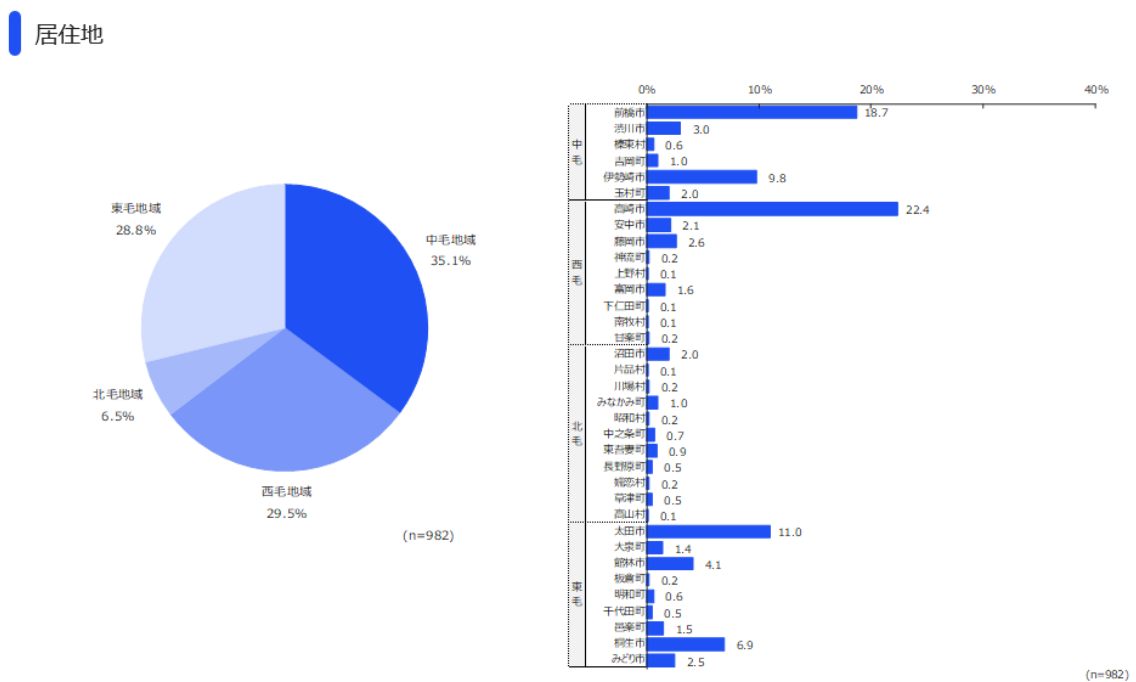
- 群馬県では、群馬県民会館の廃止に伴い、「新しい文化拠点」の設置の検討を進めています。
- 本アンケートは、「新しい文化拠点」の検討に際して参考とするため、県民の皆さまのご意見を伺うもので、
- アンケート結果については、検討の具体化に向けた貴重な資料として活用させていただきます。

■ 回答者プロフィール

図表III-2 回答者プロフィール（性別・年齢）

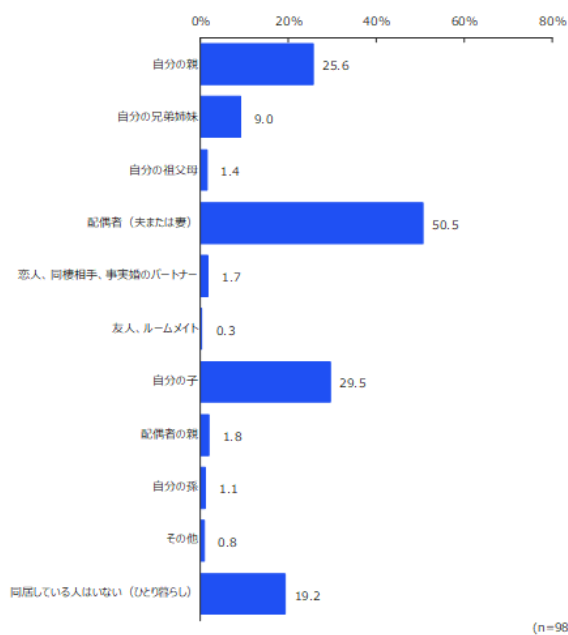


図表III-3 回答者プロフィール（居住地）



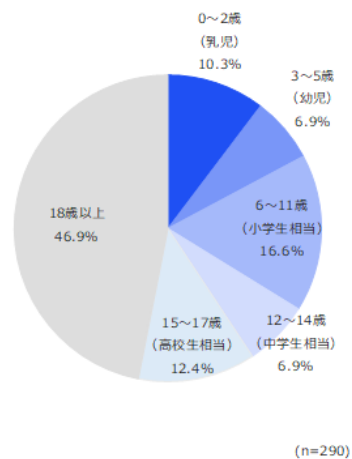
図表III-4 回答者プロフィール（同居者・同居末子年齢）

同居者



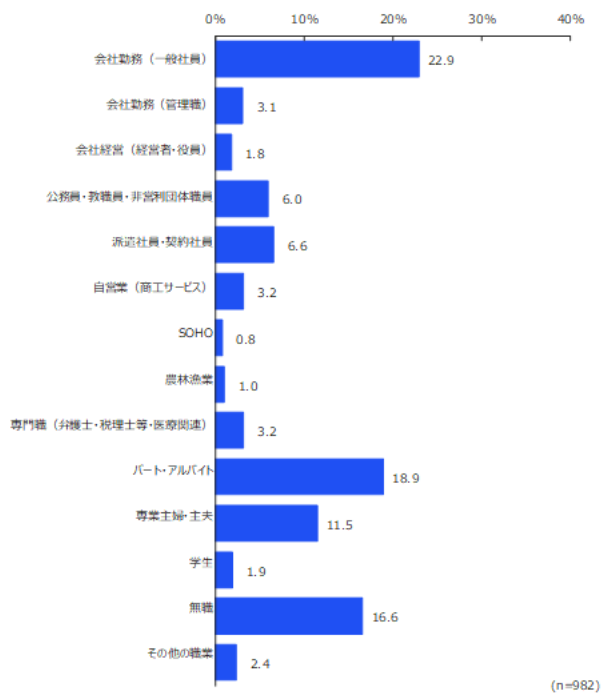
同居末子年齢

*自分の子と同居している人のみ

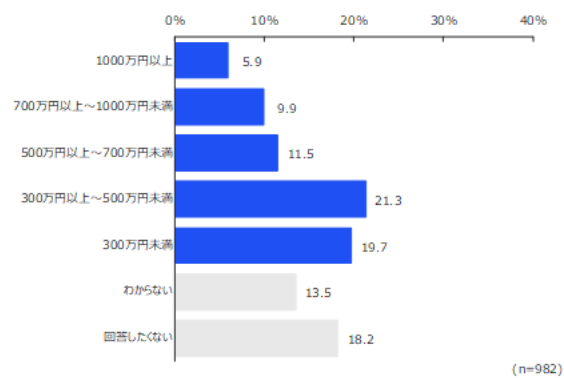


図表III-5 回答者プロフィール（職業・世帯年収）

職業

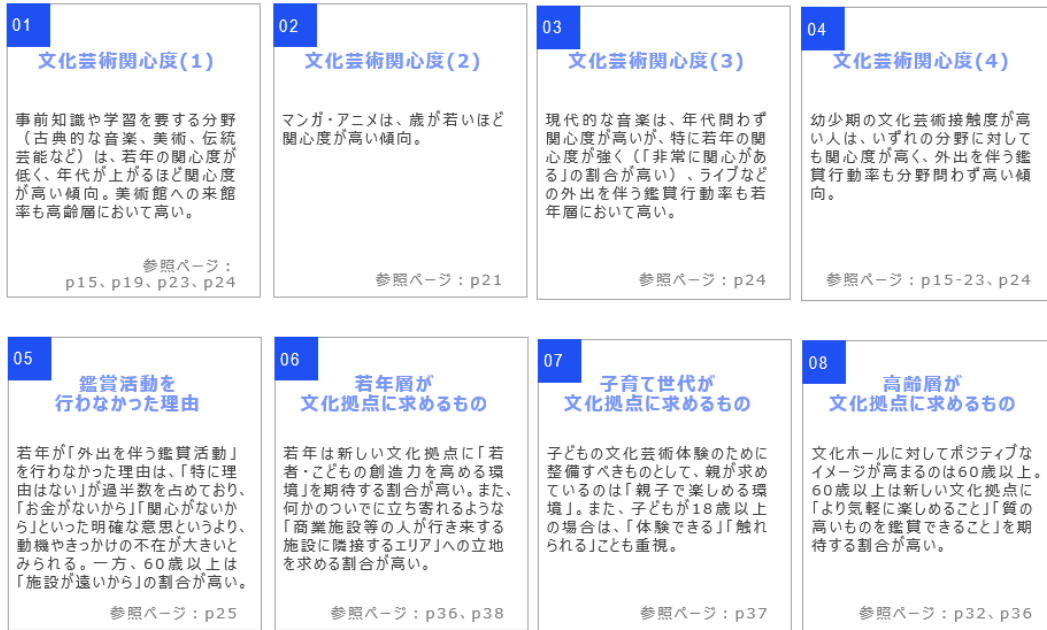


世帯年収



■ トピック・サマリー

図表III-6 本調査で明らかになった重要な結果

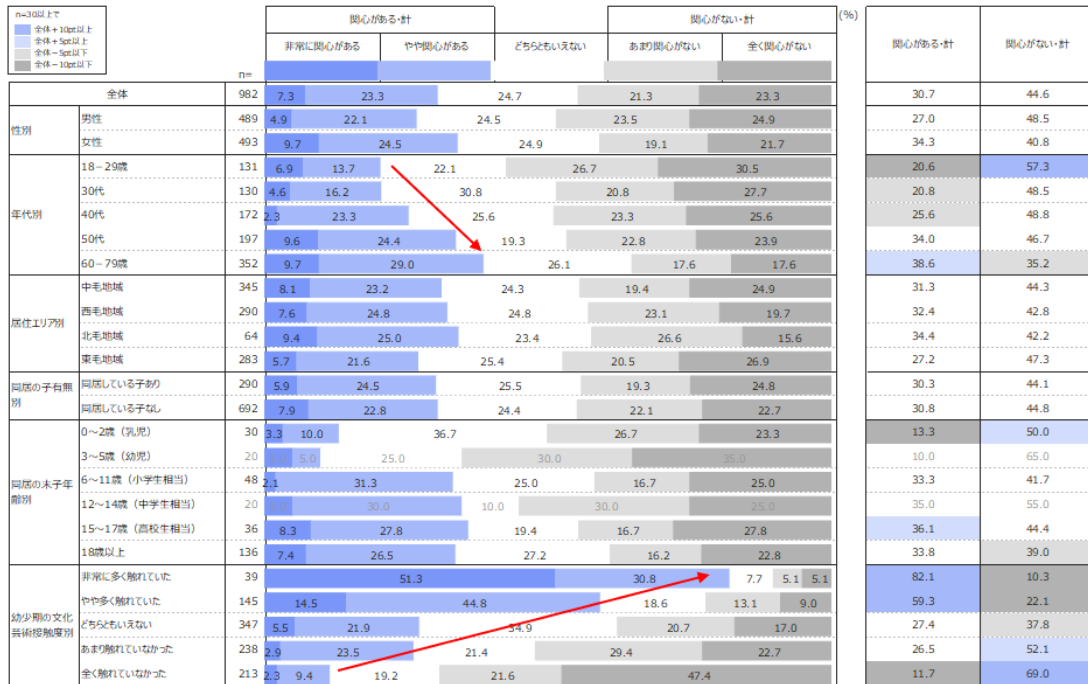


■ 調査結果

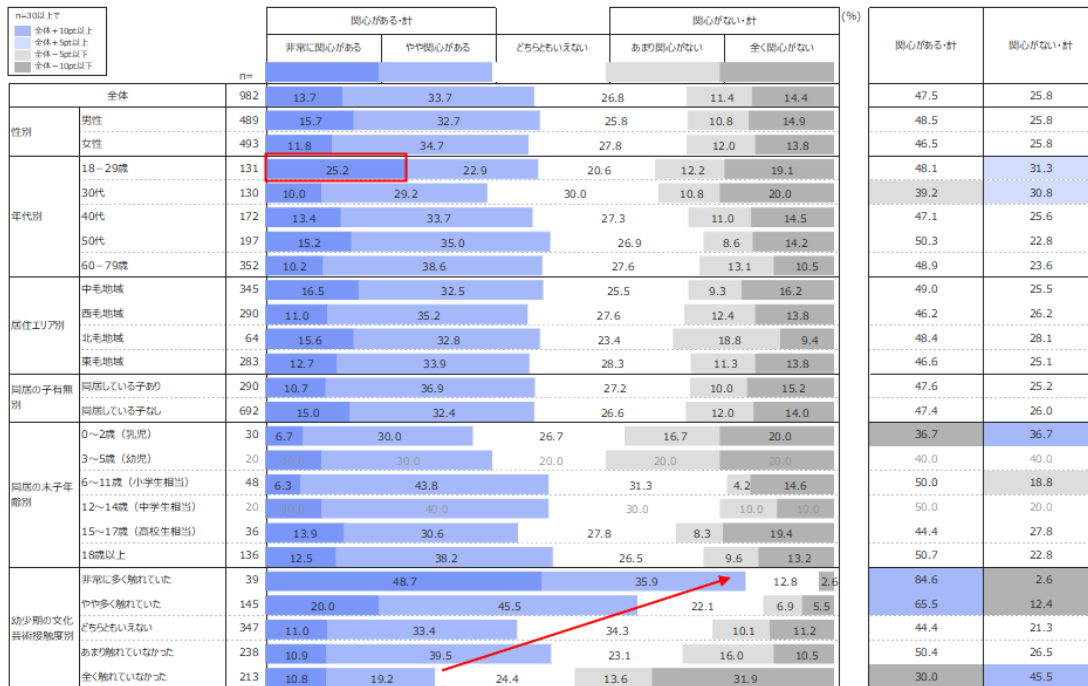
図表III-7 関心度（全体値一覧）

	n=	関心がある・計			関心がない・計 (%)		関心がある・計	関心がない・計
		非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	全く関心がない		
音楽（オーケストラ、オペラ、合唱、吹奏楽）	982	7.3	23.3	24.7	21.3	23.3	30.7	44.6
音楽（上記以外のポップス、ロック、ジャズ、演歌等）	982	13.7	33.7	26.8	11.4	14.4	47.5	25.8
演劇・舞台（演劇やミュージカルなど）	982	6.2	19.5	23.4	25.1	25.9	25.7	50.9
ダンス（バレエやコンテンポラリーダンスなど）	982	2.1	10.7	22.6	29.7	34.8	12.8	64.6
美術（絵画、彫刻、写真など）	982	7.1	21.4	25.8	21.1	24.6	28.5	45.7
映画（アニメーション映画は除く）	982	15.3	34.5	22.3	14.8	13.1	49.8	27.9
マンガ・アニメ（アニメーション映画を含む）	982	14.6	24.5	24.7	17.8	18.3	39.1	36.2
文学（小説、詩、エッセイなど）	982	8.4	24.3	24.3	20.4	22.6	32.7	43.0
伝統芸能（歌舞伎、能、民謡など）	982	3.1	15.3	27.1	24.4	30.1	18.3	54.6

図表III-8 関心度【音楽】（オーケストラ、オペラ、合唱、吹奏楽）



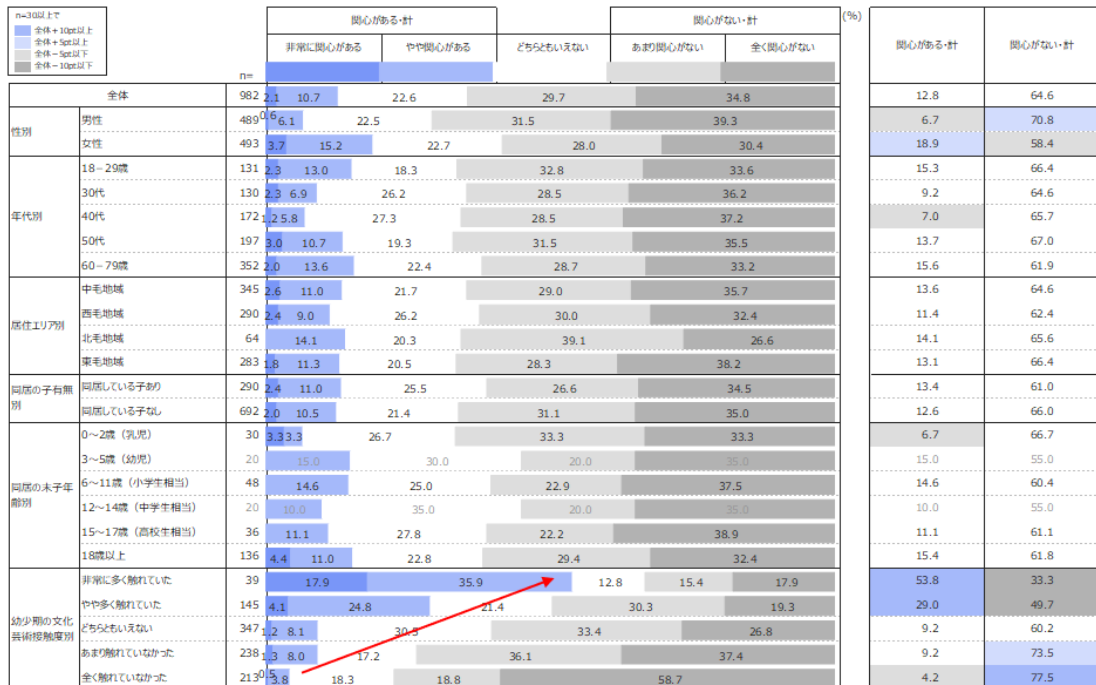
図表III-9 関心度【音楽】（ポップス、ロック、ジャズ、演歌など）



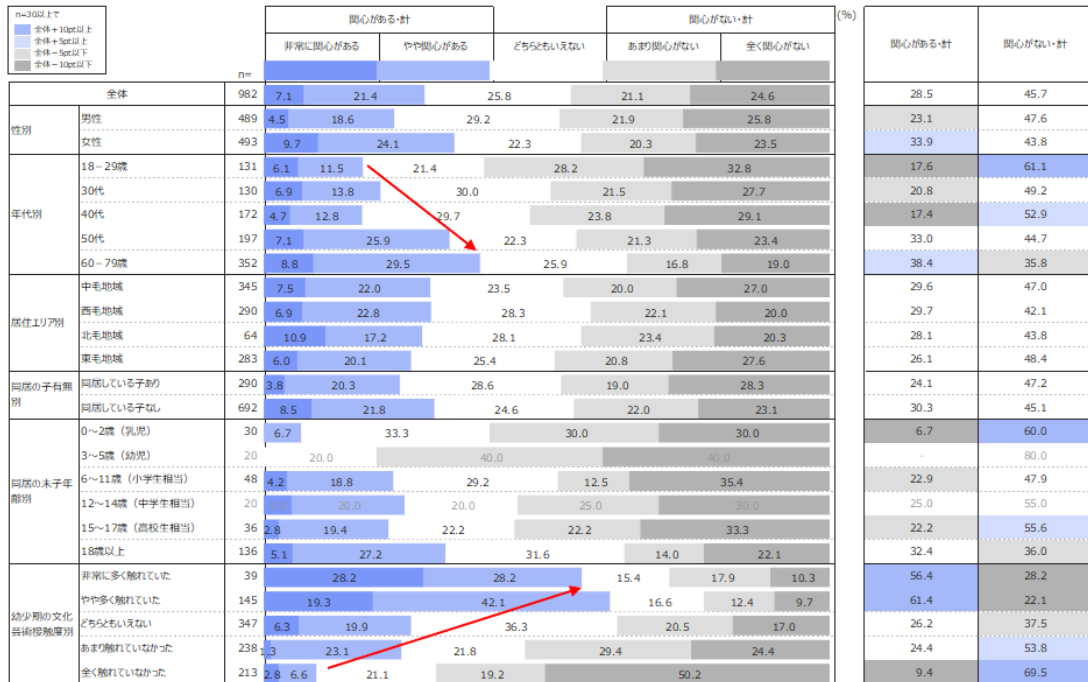
図表III-10 関心度【演劇・舞台】（演劇やミュージカルなど）



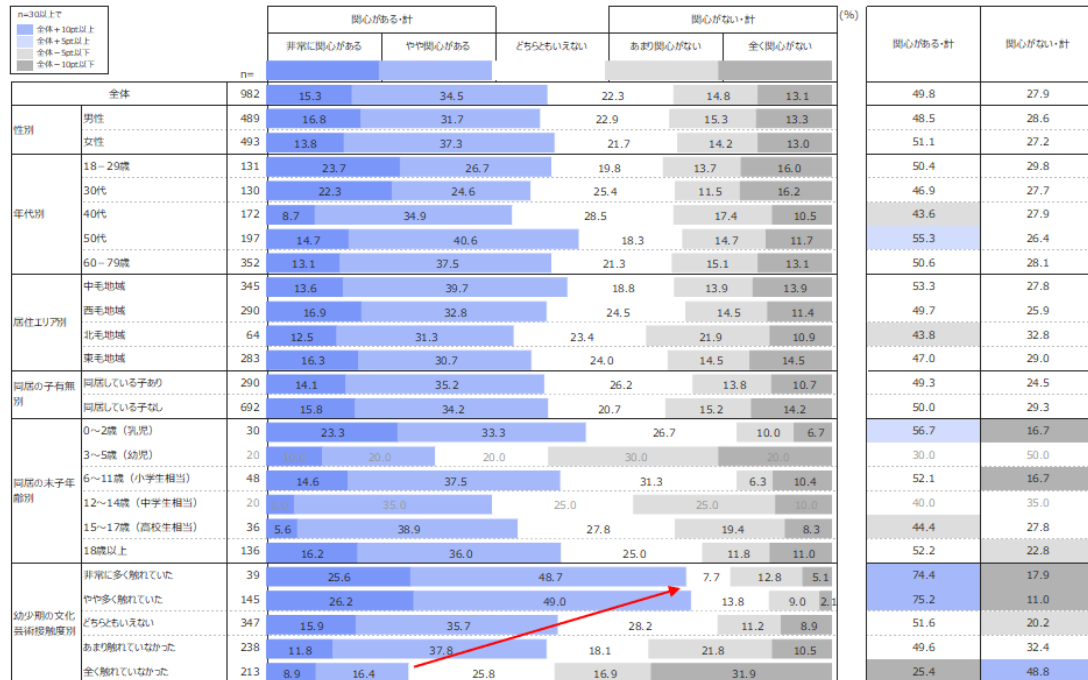
図表III-11 関心度【ダンス】（バレエやコンテンポラリーダンスなど）



図表III-12 関心度【美術】（絵画、彫刻、写真など）

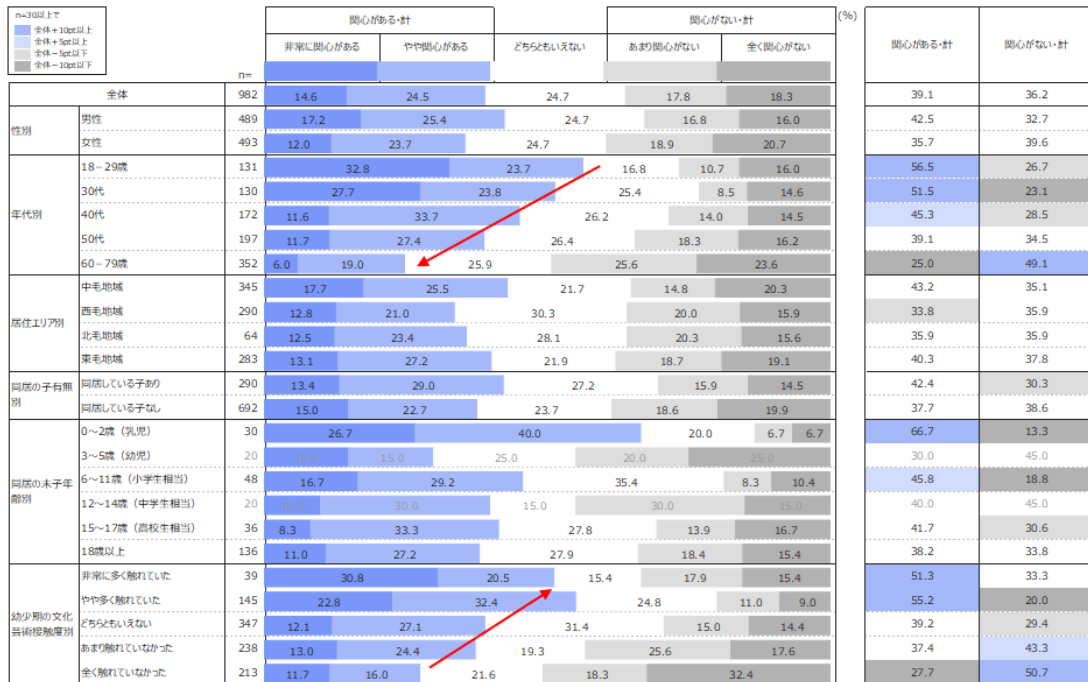


図表III-13 関心度【マンガ・アニメ】（アニメーション映画を除く）



※n=30未満は参考値のため灰色。

図表III-14 関心度【マンガ・アニメ】（アニメーション映画を含む）



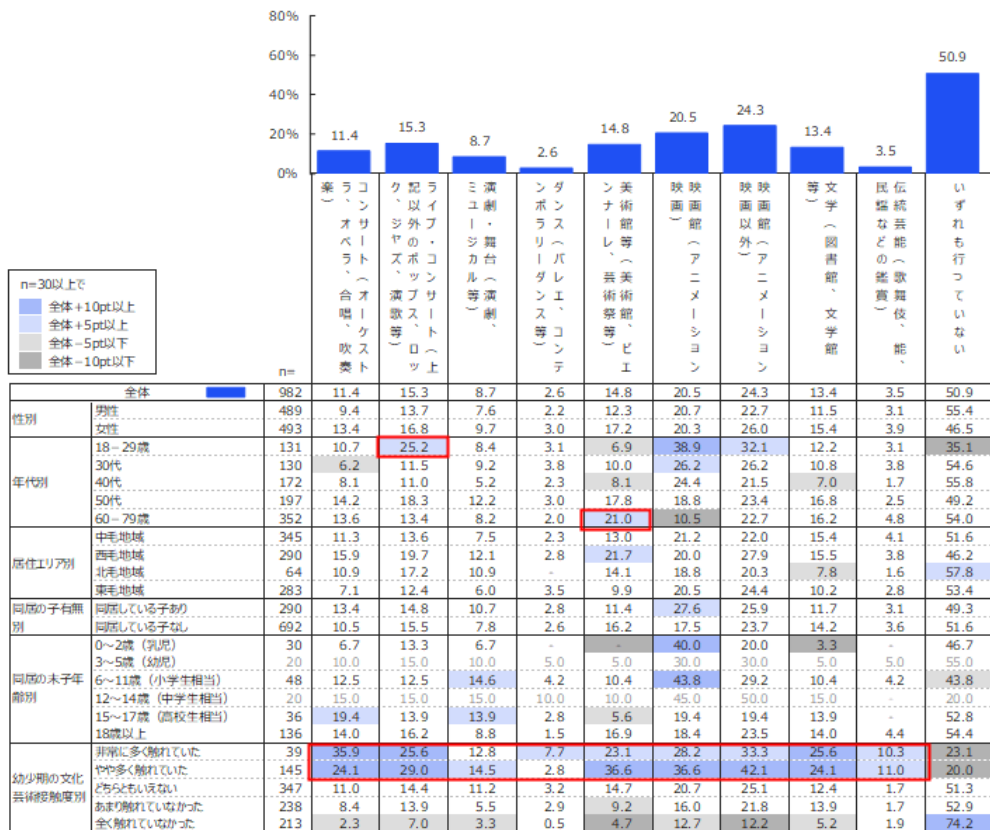
図表III-15 関心度【文学】（小説、詩、エッセイなど）



図表III-16 関心度【伝統芸能】(歌舞伎、能、民謡など)

	n	関心がある計			関心がない計		関心がある計	関心がない計
		非常に関心がある	やや関心がある	どちらともいえない	あまり関心がない	全く関心がない		
全体	982	3.1	15.3	27.1	24.4	30.1	18.3	54.6
性別								
男性	489	2.5	11.2	29.0	25.8	31.5	13.7	57.3
女性	493	3.7	19.3	25.2	23.1	28.8	22.9	51.9
年代別								
18-29歳	131	3.1	12.2	20.6	23.7	40.5	15.3	64.1
30代	130	3.1	5.4	29.2	23.1	39.2	8.5	62.3
40代	172	2.9	9.9	28.5	27.3	31.4	12.8	58.7
50代	197	2.5	18.8	24.4	25.4	28.9	21.3	54.3
60-79歳	352	3.4	20.7	29.5	23.3	23.0	24.1	46.3
居住エリア別								
中毛地域	345	2.9	16.2	26.1	22.0	32.8	19.1	54.8
西毛地域	290	2.4	16.2	28.3	27.9	25.2	18.6	53.1
北毛地域	64	7.8	15.6	28.1	25.0	23.4	23.4	48.4
東毛地域	283	2.8	13.1	26.9	23.7	33.6	15.9	57.2
同居の有無別								
同居している子あり	290	2.7	14.8	27.9	23.4	32.1	16.6	55.5
同居している子なし	692	3.6	15.5	26.7	24.9	29.3	19.1	54.2
同居の未子年齢別								
0-2歳(乳児)	30	3.3	20.0	33.3	26.7	36.7	3.3	63.3
3-5歳(幼児)	20	5.0	5.0	30.0	45.0	15.0	5.0	75.0
6-11歳(小学生相当)	48	2.1	10.4	31.3	18.8	37.5	12.5	56.3
12-14歳(中学生相当)	20	3.0	5.0	25.0	40.0	25.0	10.0	65.0
15-17歳(高校生相当)	36	2.8	16.7	22.2	19.4	38.9	19.4	58.3
18歳以上	136	2.5	21.3	28.7	22.1	26.5	22.8	48.5
幼少期の文化芸術接触履歴別								
非常に多く触れていた	39	17.9	35.9	15.4	15.4	15.4	53.8	30.8
やや多く触れていた	145	7.6	29.0	26.9	20.7	15.9	36.6	36.6
どちらともいえない	347	7.7	16.4	36.3	23.6	21.9	18.2	45.5
あまり触れていなかった	238	2.7	11.3	23.9	32.8	30.3	13.0	63.0
全く触れていなかった	213	0.4	17.8	20.7	55.9	-	5.6	76.5

図表III-17 過去1年間に行った「外出を伴う鑑賞活動」



図表Ⅲ-20

「メディアを通じて鑑賞したもの」×「外出を伴う鑑賞活動を行ったもの」

		過去1年間の外出を伴う形での鑑賞活動										
		合唱、吹奏楽)	コンサート(オーケストラ、オペラ、	ライブ・コンサート(上記以外のポップス、ロック、ジャズ、演歌等)	演劇・舞台(演劇、ミュージカル等)	ダンス(バレエ、コンテンポラリーダンス等)	美術(絵画、彫刻、写真等)	映画館(アニメーション映画)	映画館(アニメーション映画以外)	文学(図書館、文学館等)	伝統芸能(歌舞伎、能、民謡などの鑑賞)	いずれも行っていない
全体		n=982	11.4	15.3	8.7	2.6	14.8	20.5	24.3	13.4	3.5	50.9
過去1年間で、メディアを通じて鑑賞したもの	音楽(オーケストラ、オペラ、合唱、吹奏楽)	170	39.4	28.8	16.5	7.6	37.6	22.9	34.7	31.8	11.8	26.5
	音楽(上記以外のポップス、ロック、ジャズ、演歌等)	362	17.1	27.1	10.5	3.9	22.4	25.7	33.4	20.4	5.2	36.7
	演劇・舞台(演劇、ミュージカル等)	66	33.3	37.9	37.9	13.6	40.9	39.4	50.0	30.3	19.7	19.7
	ダンス(バレエ、コンテンポラリーダンス等)	54	37.0	27.8	33.3	24.1	40.7	37.0	38.9	35.2	11.1	20.4
	美術(絵画、彫刻、写真等)	108	28.7	25.9	17.6	10.2	52.8	33.3	40.7	38.9	10.2	23.1
	映画(アニメーション映画は除く)	471	14.4	19.3	11.7	3.8	21.7	31.8	40.1	20.6	4.9	34.8
	マンガ・映画(アニメーション映画)	383	13.3	20.4	11.5	4.4	19.8	39.4	35.2	18.3	4.2	36.8
	文学(小説、詩、エッセイ等)	103	24.3	24.3	14.6	6.8	28.2	36.9	34.0	39.8	9.7	30.1
	伝統芸能(歌舞伎、能、民謡等)	57	43.9	36.8	28.1	12.3	43.9	28.1	49.1	38.6	29.8	26.3
	いずれも鑑賞していない	317	3.8	5.0	3.2	0.6	4.7	5.0	7.3	2.8	0.9	80.8

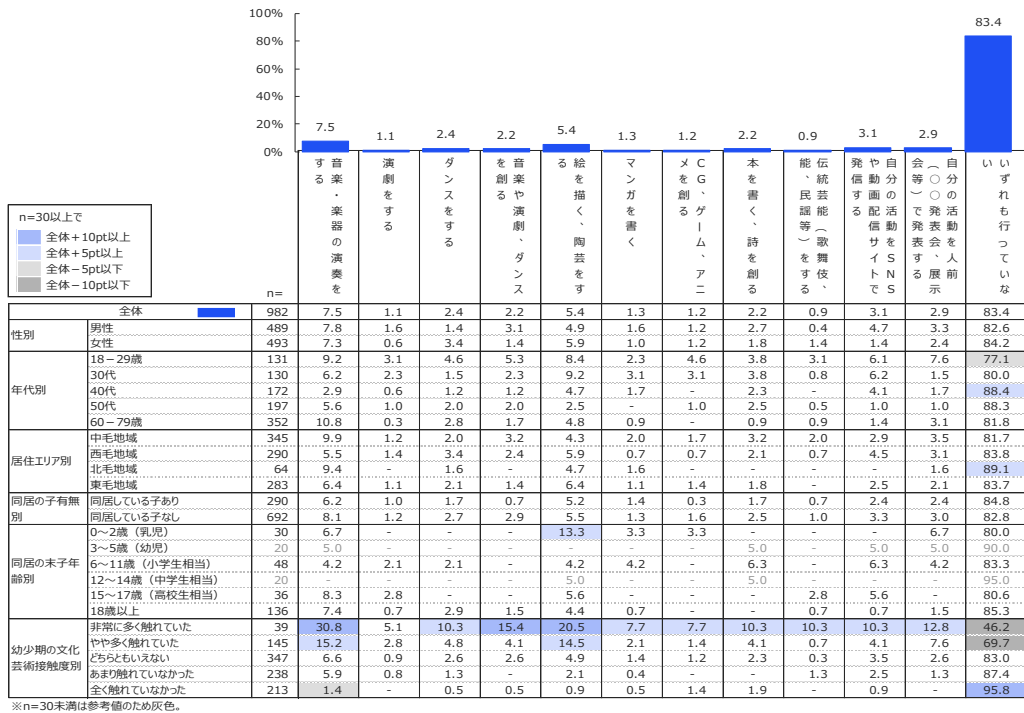
図表Ⅲ-21

「外出を伴う鑑賞活動を行ったもの」×「メディアを通じて鑑賞したもの」

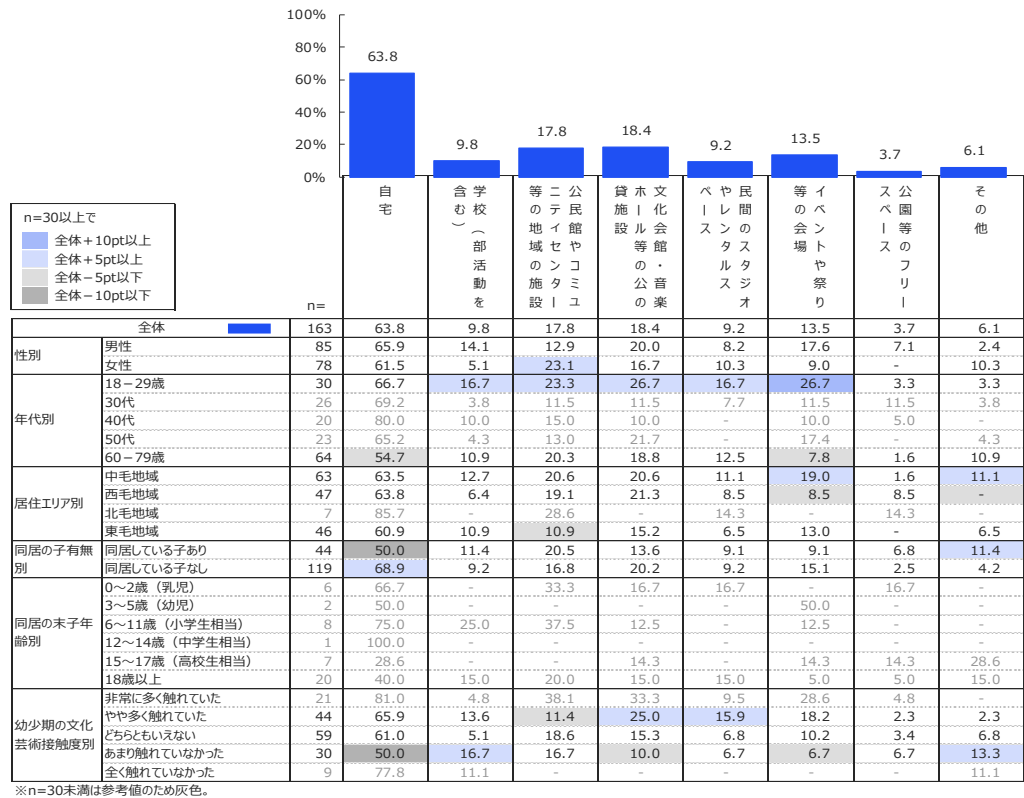
		過去1年間で、メディアを通じて鑑賞したもの											
		吹奏楽)	音楽(オーケストラ、オペラ、	ジャズ、演歌等)	音楽(上記以外のポップス、ロック、	演劇・舞台(演劇、ミュージカル等)	ダンス(バレエ、コンテンポラリーダンス等)	美術(絵画、彫刻、写真等)	映画(アニメーション映画は除く)	マンガ・映画(アニメーション映画)	文学(小説、詩、エッセイ等)	伝統芸能(歌舞伎、能、民謡等)	いずれも鑑賞していない
全体		n=982	17.3	36.9	6.7	5.5	11.0	48.0	39.0	10.5	5.8	32.3	
過去1年間の外出を伴う形での鑑賞活動	コンサート(オーケストラ、オペラ、合唱、吹奏楽)	112	59.8	55.4	19.6	17.9	27.7	60.7	45.5	22.3	22.3	10.7	
	ライブ・コンサート(上記以外のポップス、ロック、ジャズ、演歌等)	150	32.7	65.3	16.7	10.0	18.7	60.7	52.0	16.7	14.0	10.7	
	演劇・舞台(演劇、ミュージカル等)	85	32.9	44.7	29.4	21.2	22.4	64.7	51.8	17.6	18.8	11.8	
	ダンス(バレエ、コンテンポラリーダンス等)	26	50.0	53.8	34.6	50.0	42.3	69.2	65.4	26.9	26.9	7.7	
	美術館等(美術館、ピエナレ、芸術祭等)	145	44.1	55.9	18.6	15.2	39.3	70.3	52.4	20.0	17.2	10.3	
	映画館(アニメーション映画)	201	19.4	46.3	12.9	10.0	17.9	74.6	75.1	18.9	8.0	8.0	
	映画館(アニメーション映画以外)	239	24.7	50.6	13.8	8.8	18.4	79.1	56.5	14.6	11.7	9.6	
	文学(図書館、文学館等)	132	40.9	56.1	15.2	14.4	31.8	73.5	53.0	31.1	16.7	6.8	
	伝統芸能(歌舞伎、能、民謡などの鑑賞)	34	58.8	55.9	38.2	17.6	32.4	67.6	47.1	29.4	50.0	8.8	
	いずれも行っていない	500	9.0	26.6	2.6	2.2	5.0	32.8	28.2	6.2	3.0	51.2	

※n=30未満は参考値のため灰色。

図表Ⅲ-22 過去1年間に「実践（創作、習い事、体験等）」したもの



図表Ⅲ-23 過去1年間に「実践（創作、習い事、体験等）」した場所（※）



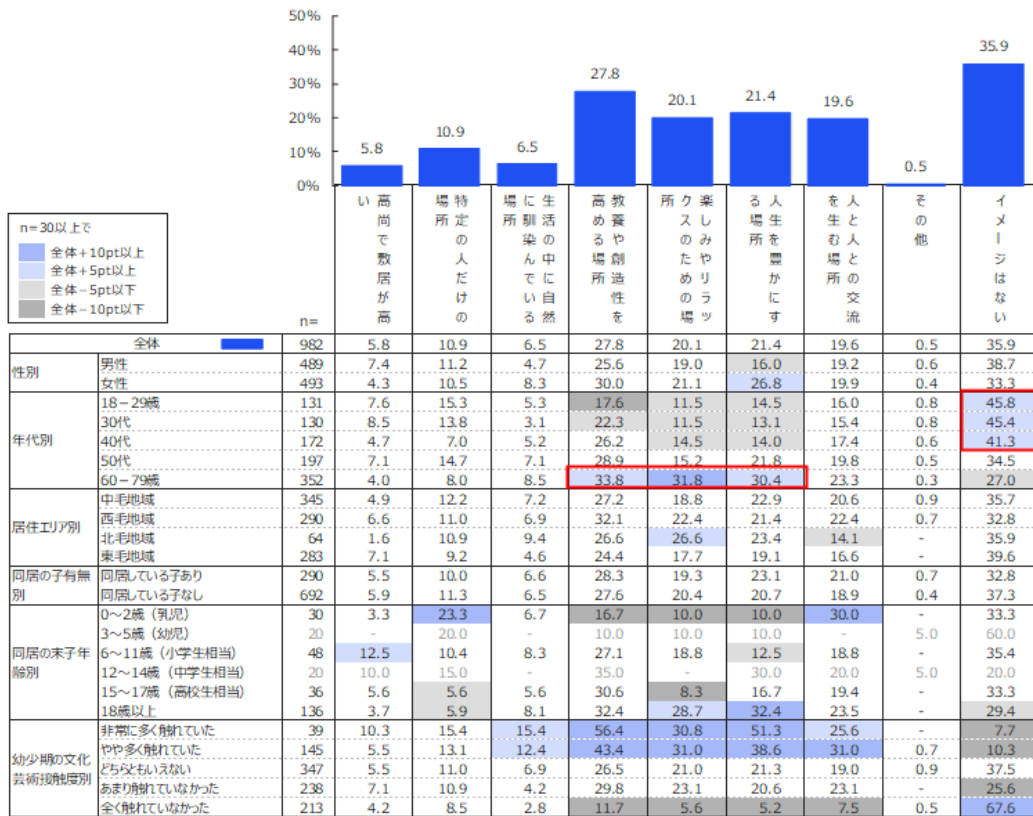
※過去1年間にいずれか実践した人のみ対象

図表III-24 幼少期における「文化芸術」との接触度

		n=	非常に多く触れていた	やや多く触れていた	どちらともいえない	あまり触れていなかった	全く触れていなかった
全体		982	4.0	14.8	35.3	24.2	21.7
性別	男性	489	2.0	12.1	38.2	24.3	23.3
	女性	493	5.9	17.4	32.5	24.1	20.1
年代別	18-29歳	131	9.2	17.6	28.2	18.3	26.7
	30代	130	3.1	15.4	40.8	11.5	29.2
	40代	172	1.2	14.5	35.5	24.4	24.4
	50代	197	5.1	10.7	35.5	25.9	22.8
	60-79歳	352	3.1	15.9	35.8	30.1	15.1
居住エリア別	中毛地域	345	5.5	13.6	36.2	24.6	20.0
	西毛地域	290	3.4	18.6	33.8	23.8	20.3
	北毛地域	64	6.3	15.6	25.0	32.8	20.3
	東毛地域	283	2.1	12.0	38.2	22.3	25.4
同居の子有無別	同居している子あり	290	3.1	13.8	33.1	27.2	22.8
	同居している子なし	692	4.3	15.2	36.3	23.0	21.2
同居の末子年齢別	0-2歳(乳児)	30	-	23.3	36.7	23.3	16.7
	3-5歳(幼児)	20	5.0	5.0	30.0	15.0	45.0
	6-11歳(小学生相当)	48	2.1	14.6	31.3	25.0	27.1
	12-14歳(中学生相当)	20	-	25.0	30.0	25.0	20.0
	15-17歳(高校生相当)	36	8.3	-	27.8	36.1	27.8
	18歳以上	136	5.1	12.5	35.3	28.7	18.4

※n=30未満は参考値のため灰色。

図表III-25 文化ホールのイメージ



※n=30未満は参考値のため灰色。

図表III-26 満足度【文化芸術の鑑賞】（作品や公演等を鑑賞する環境・機会）

	n	満足している・計			満足していない・計 (%)		満足している・計	満足していない・計
		非常に満足している	やや満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	全く満足していない		
全体	982	2.6	15.4	59.9	13.2	8.9	18.0	22.1
性別								
男性	489	2.5	15.1	62.4	10.8	9.2	17.6	20.0
女性	493	2.8	15.6	57.4	15.6	8.5	18.5	24.1
年代別								
18～29歳	131	8.4	15.3	53.4	13.7	9.2	23.7	22.9
30代	130	6.2	19.2	53.1	8.5	13.1	25.4	21.5
40代	172	2	11.0	69.2	11.0	7.6	12.2	18.6
50代	197	0.5	15.2	58.9	13.2	12.2	15.7	25.4
60～79歳	352	1	16.2	60.8	15.9	6.0	17.3	21.9
居住エリア別								
中毛地域	345	3.8	10.4	63.2	14.2	8.4	14.2	22.6
西毛地域	290	2.4	23.1	56.6	11.7	6.2	25.5	17.9
北毛地域	64	3.1	15.6	50.0	21.9	9.4	18.8	31.3
東毛地域	283	1.4	13.4	61.5	11.7	12.0	14.8	23.7
同居の有無								
同居している子あり	290	2.8	20.7	58.6	11.4	6.6	23.4	17.9
同居している子なし	692	2.6	13.2	60.4	14.0	9.8	15.8	23.8
同居の末子年齢別								
0～2歳（乳児）	30	6.7	23.3	50.0	10.0	10.0	30.0	20.0
3～5歳（幼児）	20	10.0	10.0	65.0	10.0	5.0	20.0	15.0
6～11歳（小学生相当）	48	16.7		68.8	8.3	6.3	16.7	14.6
12～14歳（中学生相当）	20	5.0	25.0	30.0	30.0	10.0	30.0	40.0
15～17歳（高校生相当）	36	19.4		63.9	8.3	8.3	19.4	16.7
18歳以上	136	2.2	22.8	58.8	11.0	5.1	25.0	16.2
幼少期の文化芸術接触度別								
非常に多く触れていた	39	17.9	17.9	30.8	23.1	10.3	35.9	33.3
やや多く触れていた	145	4.8	35.2	38.6	17.2	4.1	40.0	21.4
どちらともいえない	347	1.7	13.3	70.9	9.2	4.9	15.0	14.1
あまり触れていなかった	238	1.3	16.4	59.2	16.4	6.7	17.6	23.1
全く触れていなかった	213	0.8		62.4	11.7	20.7	5.2	32.4

※n=30未満は参考値のため灰色。

図表III-27 満足度【文化芸術の実践】（創作や習い事、体験の環境・機会）

	n	満足している・計			満足していない・計 (%)		満足している・計	満足していない・計
		非常に満足している	やや満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	全く満足していない		
全体	982	2.5	11.8	63.8	13.4	8.4	14.4	21.8
性別								
男性	489	2.5	10.6	67.3	11.0	8.6	13.1	19.6
女性	493	2.6	13.0	60.4	15.8	8.1	15.6	23.9
年代別								
18～29歳	131	6.9	18.3	55.0	10.7	9.2	25.2	19.8
30代	130	6.9	15.4	56.2	9.2	12.3	22.3	21.5
40代	172	7	9.9	69.2	12.8	6.4	11.6	19.2
50代	197	10.2		63.5	14.7	11.2	10.7	25.9
60～79歳	352	9	9.9	67.6	15.6	6.0	10.8	21.6
居住エリア別								
中毛地域	345	3.5	11.3	61.7	16.2	7.2	14.8	23.5
西毛地域	290	2.1	14.5	66.6	10.7	6.2	16.6	16.9
北毛地域	64	4.7	12.5	53.1	18.8	10.9	17.2	29.7
東毛地域	283	1.4	9.5	66.1	11.7	11.3	11.0	23.0
同居の有無								
同居している子あり	290	3.1	15.9	62.8	12.4	5.9	19.0	18.3
同居している子なし	692	2.3	10.1	64.3	13.9	9.4	12.4	23.3
同居の末子年齢別								
0～2歳（乳児）	30	6.7	16.7	56.7	10.0	10.0	23.3	20.0
3～5歳（幼児）	20	5.0	10.0	60.0	10.0	5.0	25.0	15.0
6～11歳（小学生相当）	48	14.6		66.7	14.6	4.2	14.6	18.8
12～14歳（中学生相当）	20	5.0	20.0	40.0	25.0	10.0	25.0	35.0
15～17歳（高校生相当）	36	13.9		69.4	11.1	5.6	13.9	16.7
18歳以上	136	2.2	16.9	64.7	11.0	5.1	19.1	16.2
幼少期の文化芸術接触度別								
非常に多く触れていた	39	17.9	23.1	35.9	15.4	7.7	41.0	23.1
やや多く触れていた	145	4.8	24.8	46.2	20.7	3.4	29.0	24.1
どちらともいえない	347	2.0	11.8	72.6	8.6	4.9	13.8	13.5
あまり触れていなかった	238	0.8	8.8	66.4	18.1	5.9	9.7	23.9
全く触れていなかった	213	0.2		63.8	10.8	20.2	5.2	31.0

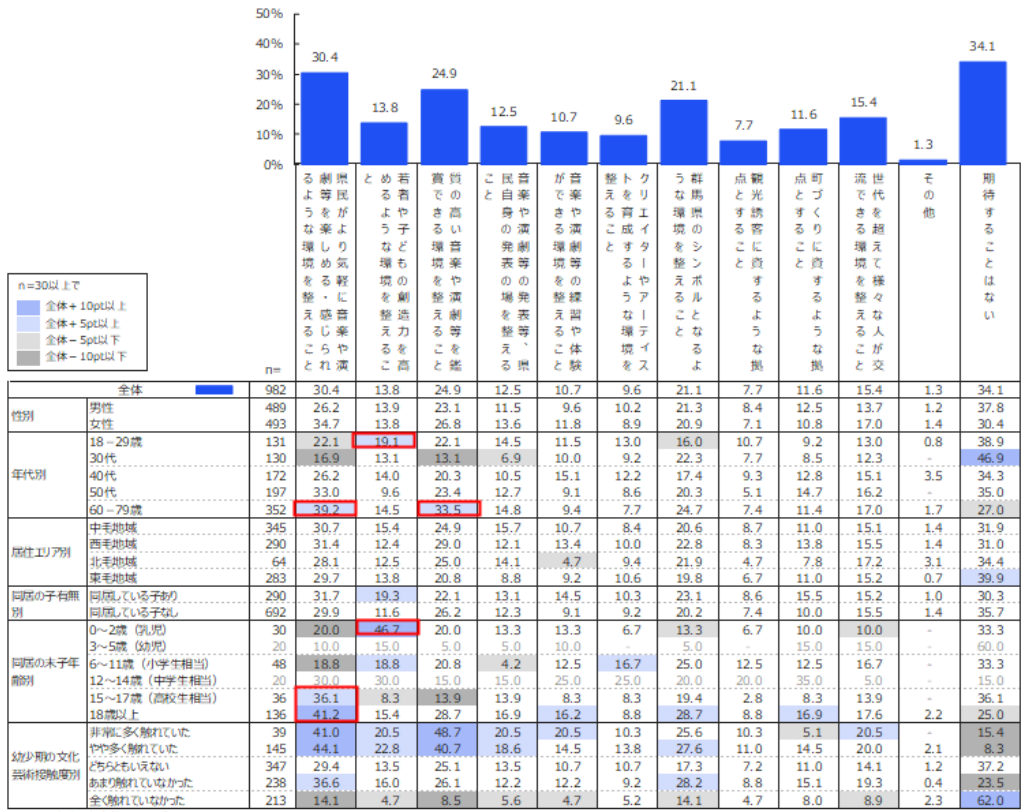
※n=30未満は参考値のため灰色。

図表III-28 満足度【文化芸術の発表】（創作や習い事等の発表の環境・機会）

	n	満足している-計			満足していない-計 (%)		満足している-計	満足していない-計
		非常に満足している	やや満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	全く満足していない		
全体	982	2.5	11.7	65.3	12.5	7.9	14.3	20.5
性別								
男性	489	2.5	11.0	68.1	10.2	8.2	13.5	18.4
女性	493	2.6	12.4	62.5	14.8	7.7	15.0	22.5
年代別								
18～29歳	131	6.9	15.3	55.0	13.7	9.2	22.1	22.9
30代	130	6.9	17.7	56.2	6.2	13.1	24.6	19.2
40代	172	2	9.3	69.8	13.4	6.4	10.5	19.8
50代	197	1.5	9.6	66.0	12.2	10.7	11.2	22.8
60～79歳	352	0.6	10.5	69.9	14.2	4.8	11.1	19.0
居住エリア別								
中毛地域	345	3.5	11.9	63.2	14.5	7.0	15.4	21.4
西毛地域	290	2.4	13.8	68.6	9.3	5.9	16.2	15.2
北毛地域	64	3.1	10.9	56.3	20.3	9.4	14.1	29.7
東毛地域	283	1.4	9.5	66.4	11.7	11.0	11.0	22.6
同居の子有無別								
同居している子あり	290	3.1	16.2	63.8	12.1	4.8	19.3	16.9
同居している子なし	692	2.3	9.8	65.9	12.7	9.2	12.1	22.0
同居の末子年齢別								
0～2歳（乳児）	30	6.7	20.0	53.3	10.0	10.0	26.7	20.0
3～5歳（幼児）	20	10.0	5.0	70.0	10.0	5.0	15.0	15.0
6～11歳（小学生相当）	48	16.7		62.5	16.7	4.2	16.7	20.8
12～14歳（中学生相当）	20	5.0	20.0	50.0	20.0	5.0	25.0	25.0
15～17歳（高校生相当）	36	16.7		66.7	11.1	5.6	16.7	16.7
18歳以上	136	2.9	16.2	66.9	10.3	3.7	19.1	14.0
幼少期の文化芸術接触度別								
非常に多く触れていた	39	20.5	23.1	33.3	15.4	7.7	43.6	23.1
やや多く触れていた	145	4.8	26.9	45.5	20.0	2.8	31.7	22.8
どちらともいえない	347	1.7	10.4	75.8	7.5	4.6	12.1	12.1
あまり触れていなかった	238	0.8	9.7	69.3	15.1	5.0	10.5	20.2
全く触れていなかった	213	0.8		62.9	12.2	20.2	4.7	32.4

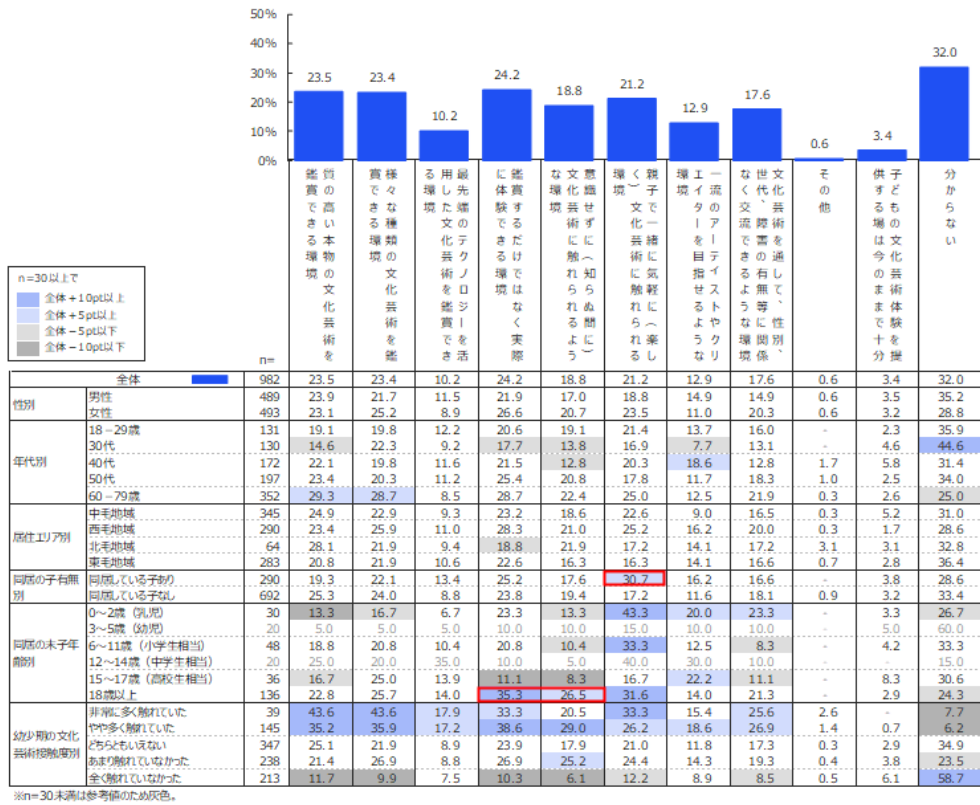
※n=30未満は参考値のため灰色。

図表III-29 新しい文化拠点への期待

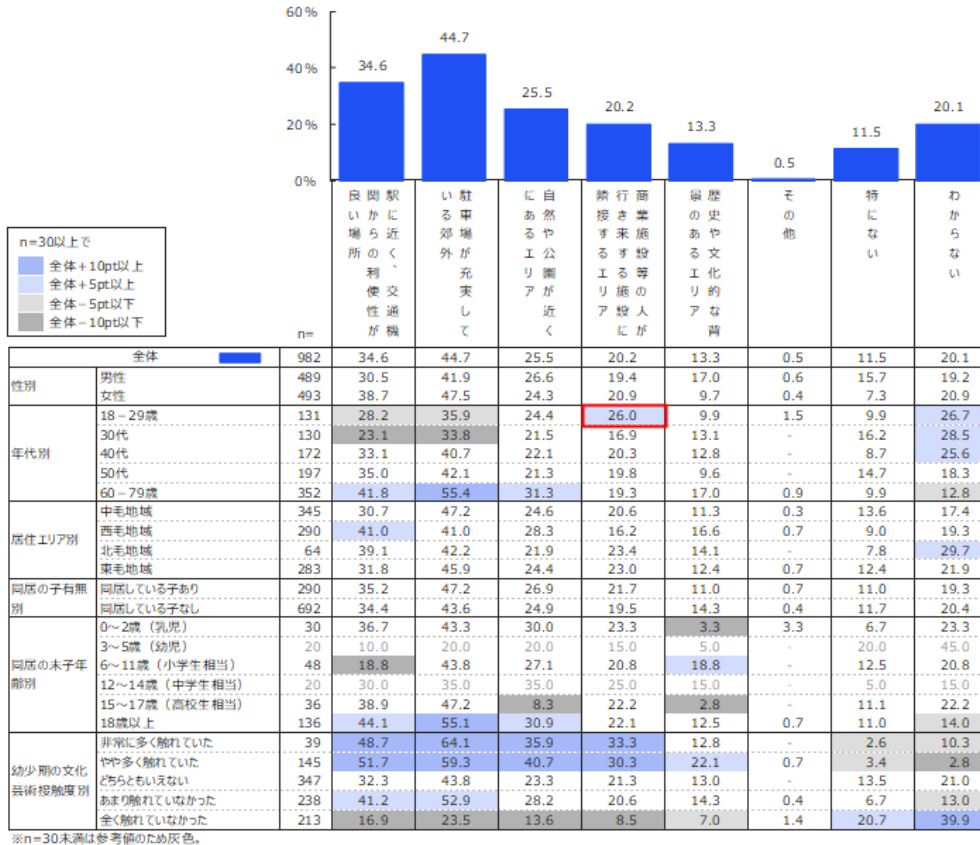


※n=30未満は参考値のため灰色。

図表III-30 子どもの文化芸術体験のために整備すべきだと思うもの

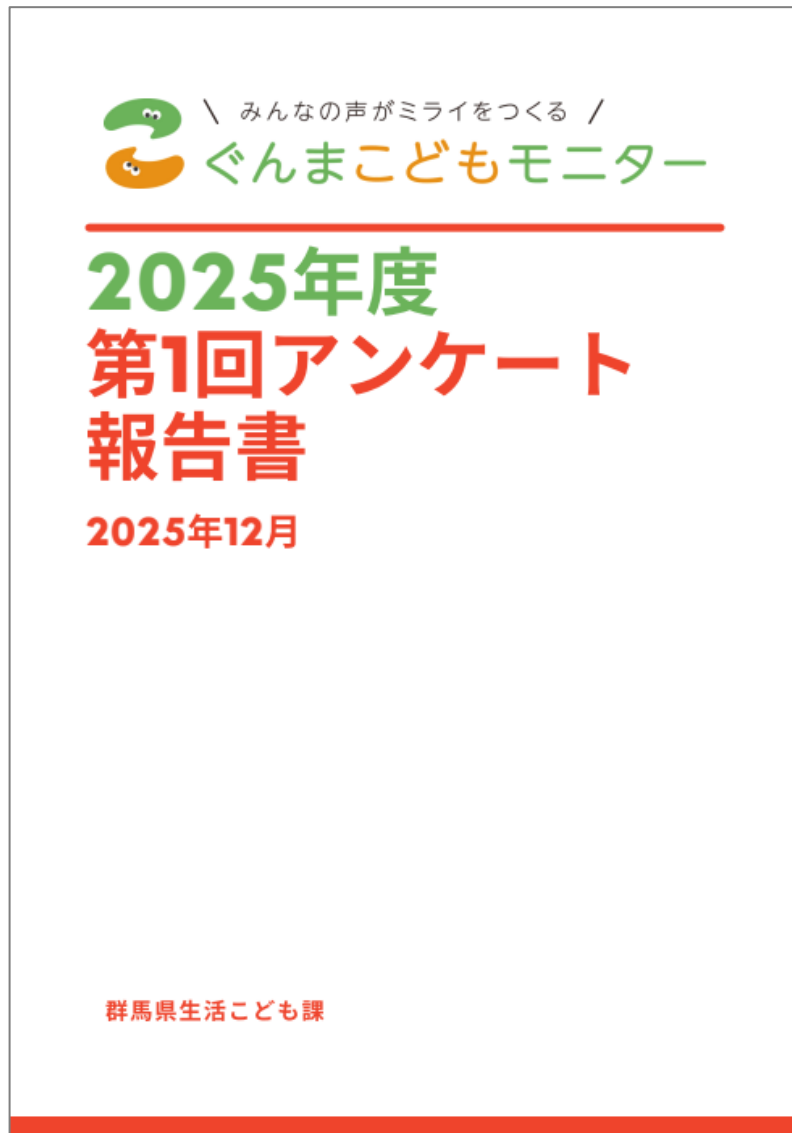


図表III-31 文化拠点に求める立地条件



IV. 子ども向けアンケート調査（調査結果掲載先）

群馬県生活子ども部生活子ども課「ぐんま子どもモニター 2025年度 第1回アンケート報告書」にて結果を記載している（<https://www.pref.gunma.jp/uploaded/attachment/685313.pdf>）。



V. 県内市町村の文化施設に係る調査（アンケート結果詳細）

1. 調査概要

県内市町村の文化施設を対象に調査を実施し、回答のあった施設は以下の通りである。

#	施設名	設立年	築年数	大ホール 席数	小ホール 席数
1	昌賢学園まえばしホール (前橋市民文化会館)	1982年	44年	1,200	600
2	大胡シャンテ マルエホール (前橋市民文化会館大胡分館)	1995年	31年	473	-
3	高崎芸術劇場	2019年	7年	2,027	568
4	群馬音楽センター	1961年	65年	1,935	-
5	高崎市文化会館	1984年	42年	705	-
6	高崎シティギャラリー	1994年	32年	324	-
7	美喜仁桐生文化会館 (桐生市市民文化会館)	1997年	29年	1,517	276
8	メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎 (伊勢崎市文化会館)	1981年	46年	1,440	494
9	伊勢崎市境総合文化センター	1996年	30年	708	204
10	伊勢崎市赤堀芸術文化プラザ	1990年	36年	511	-
11	太田市新田文化会館 (エアリスホール)	1996年	30年	1,005	-
12	太田市藪塚本町文化ホール (カルトピア)	1998年	28年	515	-
13	太田市民会館	2017年	9年	1,501	240
14	利根沼田文化会館	1975年	51年	965	282
15	館林市文化会館 (カルピスホール)	1974年	52年	1,066	-
16	日清製粉ウエルナ三の丸芸術ホール	1987年	39年	509	-
17	渋川市民会館	1976年	50年	1,259	400
18	藤岡市みかぼみらい館	1995年	31年	1,100	406
19	富岡市かぶら文化ホール (県立自然史博物館附帯ホール)	1996年	30年	1,100	-
20	安中市文化センター	1982年	44年	800	-
21	安中市松井田文化会館	1996年	30年	468	208
22	ぐんま未来大学ホール PAL (笠懸野文化ホール)	1995年	31年	1,014	-
23	童謡ふるさと館	1989年	37年	400	-
24	ながめ余興場	1937年	89年	650	-
25	吉岡町文化センター	1996年	30年	512	-
26	下仁田町文化ホール	1987年	39年	400	-
27	甘楽町文化会館	1994年	32年	506	-
28	草津音楽の森国際コンサートホール	1991年	35年	608	-

29	東吾妻町コンベンションホール	1997年	29年	434	-
30	片品村文化センター	1993年	33年	800	-
31	昭和村公民館	1986年	40年	300	-
32	みなかみ町カルチャーセンター	1997年	29年	402	-
33	川場村文化会館	1989年	37年	250	-
34	玉村町文化センター	1993年	33年	914	264
35	日本キャンパックホール (明和町ふるさと産業文化館)	1996年	30年	572	-
36	板倉町中央公民館	1978年	48年	500	-
37	洋泉興業大泉町文化むら (大泉町文化むら)	1988年	38年	808	288
38	邑楽町中央公民館	2018年	8年	485	-

※築年数は令和7年時点。

※県内の主な文化ホール（61施設）については、群馬県ホームページにて公開している。

(<https://www.pref.gunma.jp/page/3801.html>)

< 県内市町村の文化施設に対するアンケート調査票 >

アンケート項目				
市町村名				
【1】文化行政部署の職員数、業務内容	職員数	正規職員		
		会計年度任用職員		
	R7 予算額			
業務内容				
【2】市町村における文化行政・文化活動の現状と課題、展望	①現状・課題			
	②展望			
【3】県の文化行政に期待すること				
【4】市町村が所管する文化施設の運営状況（美術館・博物館等を除く、ホール機能を有するもの）	施設名			
	設立年月日			
	施設の規模			
	駐車場台数			
	管理運営形態			
	財政状況 (令和6年度) ※単位：千円	収入	一般財源（指定管理料等）	
			事業収入（入場料等）	
			貸館収入	
			補助金・助成金	
		支出	その他	
			事業費	
			管理・運営費	
			人件費	
	職員数	その他		
		運営団体職員		
		出向		
		非正規職員		
		外部委託		
	専門人材の状況	外部委託内容		
		有無		
		人数		
	内容			
	施設・設備（客席数、収容人数）			
ホール用途				
利用実績 (令和6年度)	利用者数	利用者数		
		利用件数	興行利用（件・％）	
			住民の文化活動の練習・発表（件・％）	
	貸館		その他（件・％）	
	自主事業（件・％）			
	稼働率	稼働率		
稼働率				
稼働率				

	地域・他館との連携	有無 具体事例
	アウトリーチの取組	有無 具体事例
	群馬県民会館の廃止の影響	有無 具体事例
	大規模改修等の予定や検討状況	有無 検討状況
	施設運営上の課題	
	将来的な展望、方向性	
<p>【5-1】 現在、県が進めている「新たな文化拠点」に対して期待すること (ハード、ソフトそれぞれ3つまで選んでください)</p>	①ハード	優れた芸術文化を鑑賞できる専門ホール
		文化活動の発表の場から鑑賞、式典まで対応できる多目的ホール
		広域的な展示機会に対応できる展示・ギャラリースペース
		県民が利用できる練習スペース
		県民が利用できる創作スペース (アトリエ、ラウンジ)
		県民が利用できる交流スペース (ラウンジ)
		県民が利用できる会議室
		レストラン、カフェなどの飲食店
		子どもが芸術文化に触れられる場
		利便性の高い立地 (駅に近い、公共交通機関のアクセスが良い、駐車場が多い)
	その他	
	②ソフト	県民の文化活動の支援
		子ども・若者向けの文化芸術教育・人材育成事業
		若手アーティストの支援
		県内各地域へのアウトリーチ、出前授業等の展開
		市町村ホールに対する技術支援
		地域文化資源 (伝統文化等) の支援
		社会包摂に資する事業 (高齢者・障害者・外国人等への配慮)
		ワークショップなど体験型メニューの実施
		市町村との連携による共同事業・研修の実施
観光や地域振興と連動した文化発信・イベントの開催		
文化芸術の調査・研究		
その他		
【5-2】 上記を選んだ理由を記載してください。		
【6】 そのほか、ご要望等あれば記載してください。		

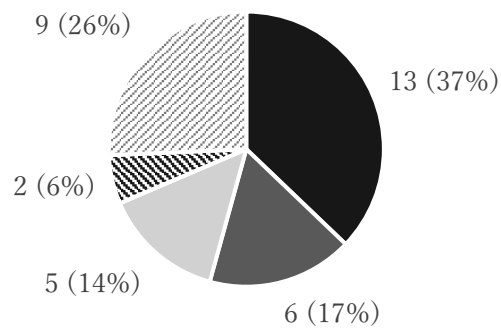
2. 調査結果

県内市町村の文化施設を対象に調査を実施し、回答を集計した結果は以下の通りである。

■ 文化行政部署の職員数、業務内容 (N=35 市町村)

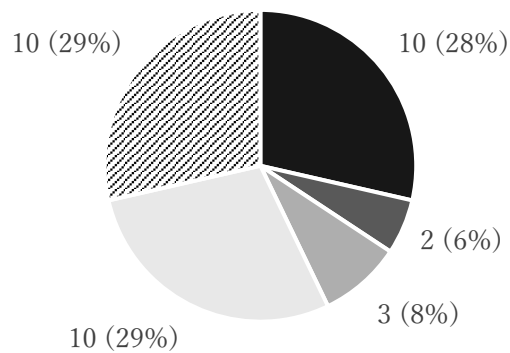
図表V-2-1 市町村における文化行政部署に在籍する職員数 (単一回答)

■ 5人未満 ■ 5～9人 ■ 10～14人 ■ 15～19人 ■ 20人 ※ 未回答・不明



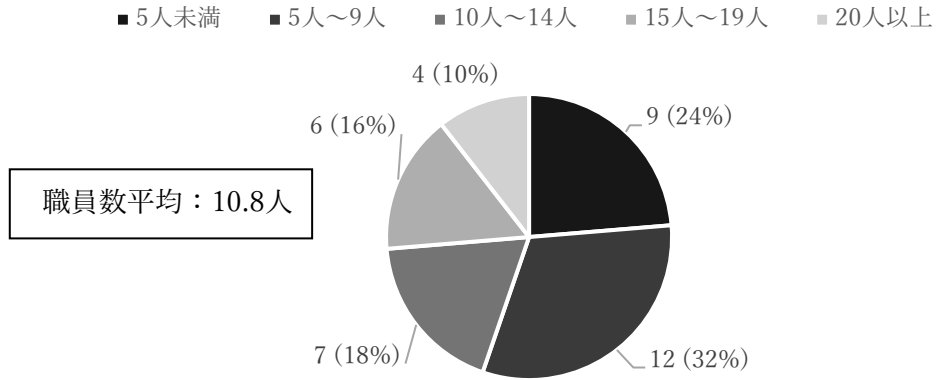
図表V-2-2 市町村における文化行政部署の予算額の分布 (単一回答)

■ 2500万円未満 ■ 2500万円～5,000万円未満
 ■ 5,000万円～9,999万円 ■ 1億円以上
 ※ 未回答・不明

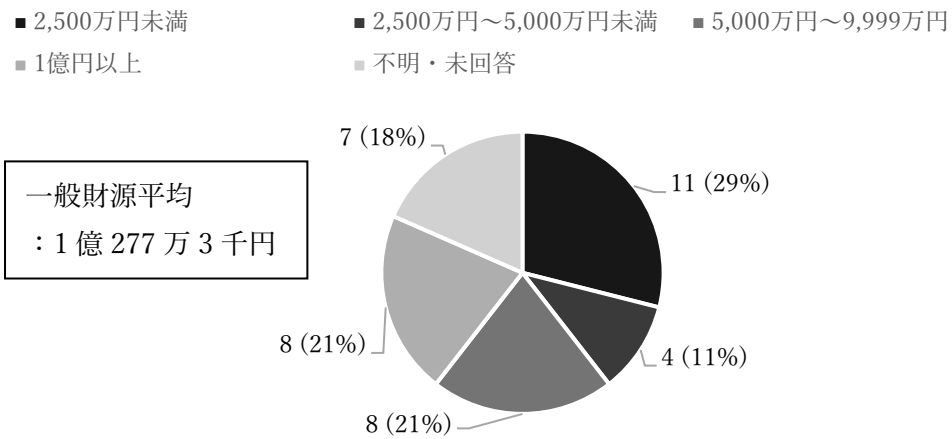


■ 市町村が所管する文化施設の職員数、一般財源（N=38 施設）

図表 V-2-3 市町村が所管する文化施設の在籍職員数（単一回答）

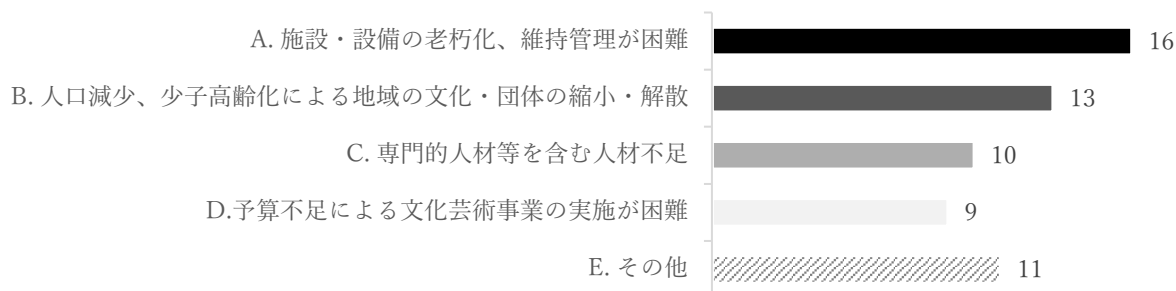


図表 V-2-4 市町村が所管する文化施設の一般財源（単一回答）



■ 市町村における文化行政・文化活動の現状と課題、展望（N=38 施設）

図表V-2-5 市町村が所管する文化施設における現状・課題（複数回答）



項目	現状・課題に関する回答（抜粋）
A. 施設・設備の老朽化、維持管理が困難	<ul style="list-style-type: none"> 文化施設の老朽化が進み、維持管理に係る経費が年々増加している。 人口減少が著しく、町の財政状況も厳しい中、コンサートホールの維持管理が困難になっている。 人口減少が進み、町の財政状況も厳しい中、施設維持管理が困難になっている。
B. 人口減少、少子高齢化による地域の文化・団体の縮小・解散	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化と若年層の担い手不足により、伝統芸能の継承に課題を感じている。 町全体で高齢化が進み、また各文化芸能団体についても後継者がおらず規模縮小、解散となる団体が増えている。 人口減少、少子高齢化、趣味の多様化、コロナ禍等の影響により文化活動が減少している。
C. 専門的人材等を含む人材不足	<ul style="list-style-type: none"> 専門的な人材が不足し、文化ホールの管理や文化行政の実施が困難になっている。 職員不足により十分な活動ができていない。 運営事務に当たる人材が不足し、ホールの管理や事業実施に支障を来している。
D. 予算不足による文化芸術事業の実施が困難	<ul style="list-style-type: none"> 予算が十分に取れず、住民を対象にした文化芸術事業が実施できていない。 運営費の不足：自治体の予算縮小により、施設の維持管理や人件費が十分に確保されない。
E. その他	<ul style="list-style-type: none"> 施設の統廃合をする場合に、地元住民の理解を得られるかどうか不安。 施設維持管理費（歳出）と施設使用料（歳入）のバランスが支出超過のため課題とされている。 地域振興や観光、文化財、教育部門との横断や他自治体や民間との連携する取組みがない 利用者の高齢化が進んでおり、若い世代の利用を増やすことが課題となっている。

図表V-2-6 市町村が所管する文化施設における現状・課題（複数回答）



項目	展望に関する回答（抜粋）
A. 関係自治体・各種団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> 民間団体とも連携し、文化芸術活動を充実させていく。 周辺市町村と連携し、地元のみならず、近隣地域住民を対象とした広域連携での事業ができると良い。事業実施の共同での検討も必要と思われる。 空き施設の活用や、他分野（福祉・教育・観光など）との連携を深め、複合的な公共空間としての機能が期待される。
B. 施設の計画的な改修	<ul style="list-style-type: none"> 施設の改修等を行い、質の高い芸術文化を市民に提供できるよう模索したい。 各設備の老朽化が進んでいるため、計画的な改修を進めていきたい。
C. 市民の文化活動の支援、コミュニティづくり	<ul style="list-style-type: none"> 所管する文化施設において、市民の文化活動を支援しコミュニティづくりの場としても活用できる拠点としていく。
D. 費用対効果を意識した施設運営	<ul style="list-style-type: none"> 少ない職員数のため、年度内の事業回数を増やすのではなく、多くの集客を想定した規模の大きい事業を限られた予算で行えると良い。
E. 芸術文化の振興及び継承	<ul style="list-style-type: none"> 他施設との差別化を図りながら、地域や施設の特性を生かした文化芸術事業を実施し、地域文化の振興に寄与する。
F. 新たな文化芸術事業の模索	<ul style="list-style-type: none"> 地域の文化芸術活動がより活発化するような事業手法を検討したい。
G. 情報発信の強化	<ul style="list-style-type: none"> 後継者確保、育成に向けてケーブルテレビや公式アプリ等で情報提供を行う。
H. 職員の体制強化	<ul style="list-style-type: none"> 一部行政職員の出向を希望したい。
I. 子どもたちが芸術文化に触れる機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> 様々な体験プログラムを提供し、子供たちが芸術文化に触れる機会の提供と、文化協会会員の技術・経験を後世に継承する。
J. その他	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の活用（DX：デジタルトランスフォーメーション）。 チケット販売・来館予約・施設管理などにスマートシステム導入。

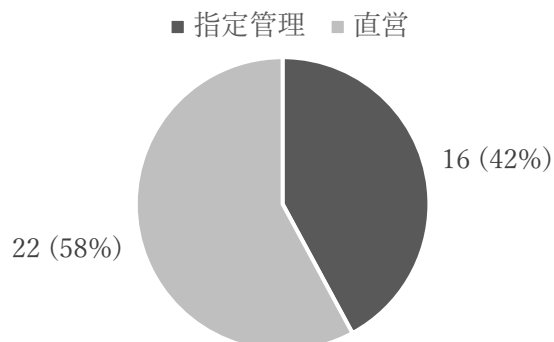
図表 V-2-7 市町村が所管する文化施設が県に対して期待すること（複数回答）



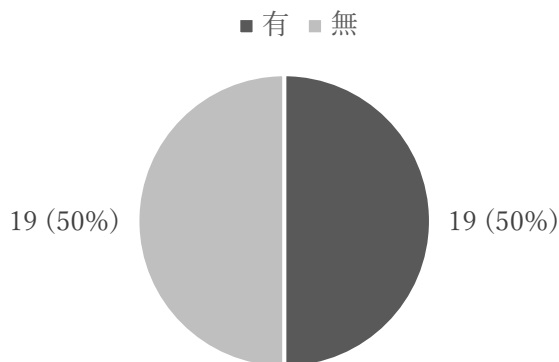
項目	県に期待することに関する回答（抜粋）
A. 市町村では難しい事業の実施・拠点整備	<ul style="list-style-type: none"> 市町村では実施が難しい事業・拠点整備を行ってほしい。 市町村では実施が難しい文化事業（大型企画）の実施。
B. 県内各地で、アウトリーチ型での文化活動支援	<ul style="list-style-type: none"> 県内各地で、アウトリーチ型での文化活動支援を行ってほしい。
C. 補助金等の整備、拡充	<ul style="list-style-type: none"> 文化行政（ハード・ソフト）に関する補助金制度の充実。 文化施設を維持管理するための補助金等を整備してほしい。
D. 伝統文化芸能の支援	<ul style="list-style-type: none"> 伝統文化の保存継承における、維持や修復への財政的支援の拡充。
E. 専門人材の派遣、育成機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ノウハウを持っている専門人材の派遣もしくは育成の機会の提供。 ホール運営や芸術文化事業の実施等に関する専門的な研修機会の提供。
F. 県内文化施設の活用・課題の情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 県内文化施設の状況や課題の共有等、文化施設担当者にとって有益な情報の取りまとめ・提供。
G. 地域の文化活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが気軽に利用できる貸館業務（技術面、金銭面）。
H. その他	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・若者向けの文化芸術教育を通して、群馬県の文化レベルを上げていただきたい。また、生涯学習として高齢者も参加しやすいイベントの提案などもしていただけると良いと思う。 誰もが気軽に利用できる貸館業務（技術面、金銭面）。

■ 市町村が所管する文化施設の運営状況 (N=38 施設)

図表V-2-8 市町村が所管する文化施設の管理運営形態 (単一回答)



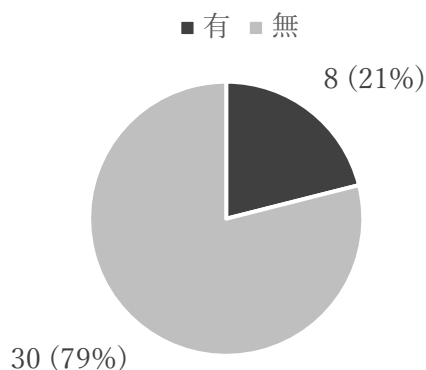
図表V-2-9 市町村が所管する文化施設の地域・他館との連携状況 (単一回答)



地域・他館との連携状況に関する具体事例 (抜粋)

- 他館のチケット販売の実施
- 指定管理者の本体業務において施設を活用したまちづくり事業を実施
- 同指定管理者が管理する施設と連携し、人事交流を行い人材研修を行っている。
- 地元商店との連携により、自主事業に会場したお客様を対象に、優待サービスを提供し、来館者と地元商店を繋ぎ地域との連携を進めている。
- 他館のイベント情報に関するポスターの掲示や公演チケットの販売協力をして、連携を図っている。
- 建築として注目されているため、施設見学を積極的に受け入れている。
- 3館で連携し人材研修を行っているほか、地元自治体との連携事業を毎年実施している。
- 地域活性化事業の実施 (市民参加型・地域文化継承事業)
- イベントごとに地元出演団体の代表者を委員として実行委員会を組織し、以て自主事業及びその運営主体としている。
- 小中学校、高校、地域団体及び他館との協力参加により事業を実施

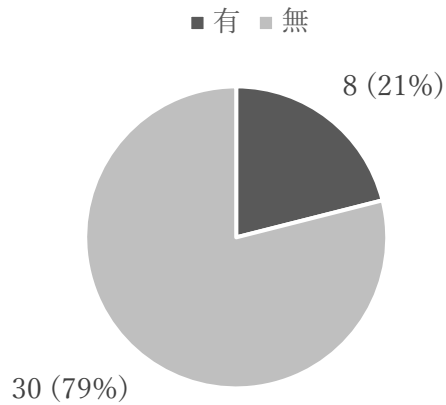
図表V-2-10 市町村が所管する文化施設のアウトリーチの取り組み状況（単一回答）



アウトリーチの取り組みに関する具体事例（抜粋）

- 市所有の和太鼓を体験できる演奏体験会を実施している。
- 学校へのアーティストの派遣や箏の講師派遣など
- より多くの子供たちに質の高い文化芸術との出会いの機会を提供し、将来の愛好者と芸術家の育成を目的に、小学校へのアウトリーチ事業（出前講座）や交響楽団による中学生向けの金管クリニックなどを実施し、文化芸術の普及啓発を図り、施設の利用拡大に繋がる事業を実施している。
- 財団と提携し、毎月1回、市内の各所に演奏家を派遣しバイオリンとピアノのミニコンサートを開催している。
- 地域学生及び音楽団体に対する活動の場となるような事業を展開
- 地域の全小学校に出向き、プロの和楽器奏者の演奏を聴く会を実施している。
- 地域の中学校に出向き、吹奏楽部の生徒に演奏方法を指導するセミナーを実施している。
- 各児童館で訪問コンサートを実施。また、ホールにゆかりの深い出演者の動画作成・配信。

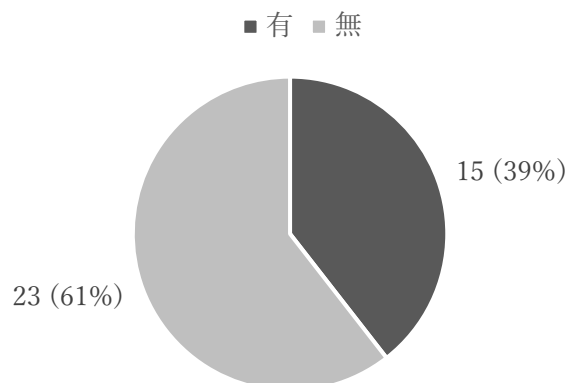
図表V-2-11 市町村が所管する文化施設における、旧県民会館の廃止の影響（単一回答）



旧県民会館の廃止の影響に関する具体事例（抜粋）

- 利用申請や問い合わせが増えている。
- 利用者から、県民会館が利用できなくなったので当館を利用することにしたとの報告あり
- 全国巡回ツアー等の利用相談増加
- 大小ホールとも利用率が大幅に高まり、土曜日・日曜日を中心に利用は抽選となっている。
- 県民会館が群馬県公立文化施設協議会の幹事館だった為、同協議会は解散となってしまった。

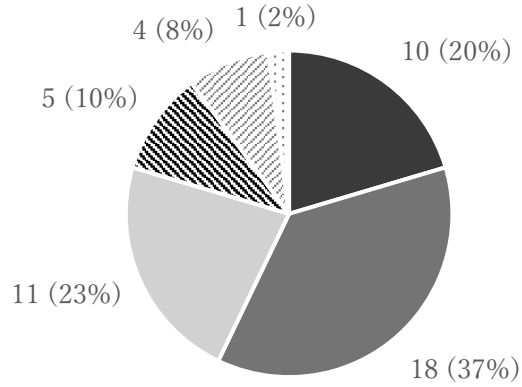
図表V-2-12 市町村が所管する文化施設における、大規模改修等の予定や検討状況（単一回答）



図表V-2-13 市町村が所管する文化施設の年間利用者数の分布（単一回答）

(N=49 ホール)

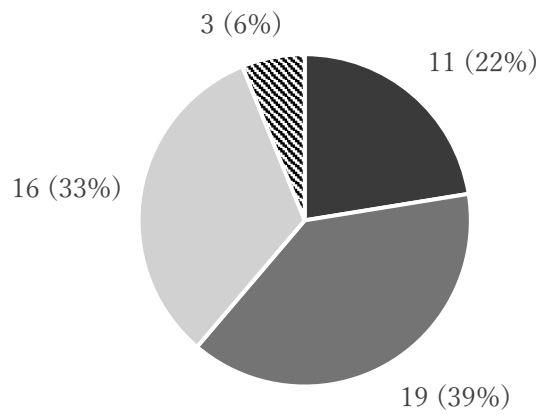
■ 1万人未満 ■ 3万人未満 ■ 5万人未満 ■ 10万人未満 ※ 10万人以上 ... 不明



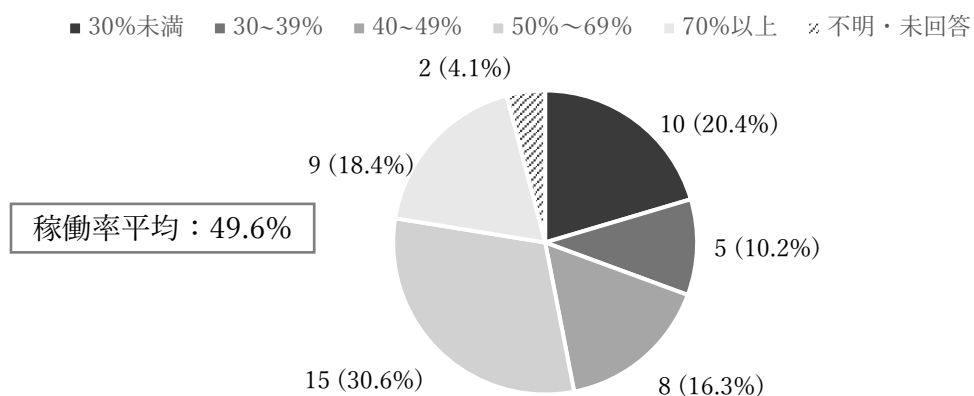
図表V-2-14 市町村が所管する文化施設の年間利用件数の分布（単一回答）

(N=49 ホール)

■ 100件未満 ■ 200件未満 ■ 200件以上 ※ 不明



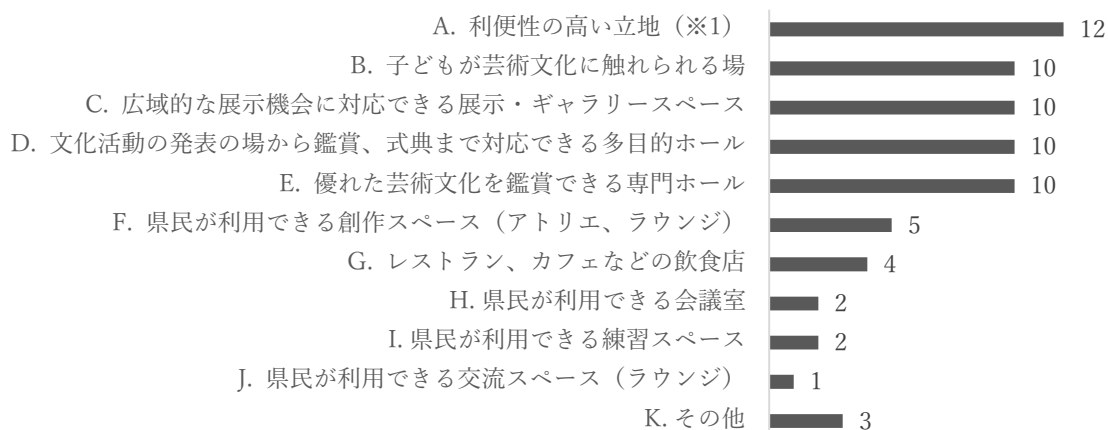
図表V-2-15 市町村が所管する文化施設のホール稼働率（単一回答）（N=49 ホール）



※各施設のアンケート結果に準拠しており、複数ホールの稼働率が合計されている施設もあったため、実際のホール数と集計時のホール数が異なる点について留意が必要である。

■ 現在、県が進めている「新たな文化拠点」に対して期待すること（N=38 施設）

図表V-2-16 市町村が所管する文化施設が新たな拠点に期待すること_ハード
(複数回答)

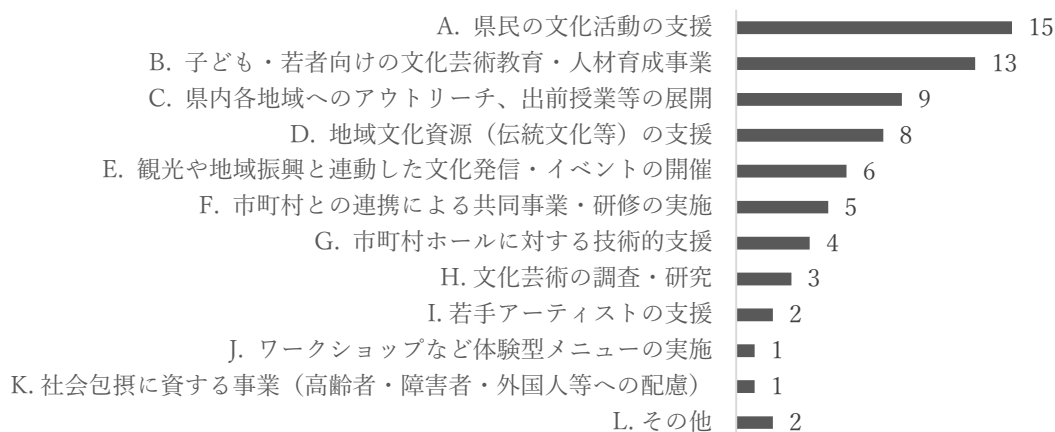


※1 駅に近い、公共交通機関のアクセスが良い、駐車場が多い。

項目 (※2)	県に期待することを選んだ理由 (抜粋)
A. 利便性の高い立地 (駅に近い、公共交通機関のアクセスが良い、駐車場が多い)	<ul style="list-style-type: none"> 遠方より足を運んでいただくためには、アクセスの良さが要となるため。
B. 子どもが芸術文化に触れられる場	<ul style="list-style-type: none"> 子どものうちから、本物の芸術文化に触れる機会が大切と考えるため。
C. 広域的な展示機会に対応できる展示・ギャラリースペース	<ul style="list-style-type: none"> 県内から集まったの発表会や展示会を実施する際に必要な設備を整えていただきたいと考えるため。
E. 優れた芸術文化を鑑賞できる専門ホール	<ul style="list-style-type: none"> 市町村では整備できない、舞台芸術など特定分野に特化した専門ホールを整備して欲しい。
F. 県民が利用できる創作スペース (アトリエ、ラウンジ)	<ul style="list-style-type: none"> 県民が誰でも気軽に利用できる練習スペースや、創作スペースがあまりないのではないかと考えたため。
H. 県民が利用できる会議室	<ul style="list-style-type: none"> 県民が気軽に使用できる会議室などの施設があると良い。

※2 具体的な理由が得られた項目を中心に記載している。

図表V-2-17 市町村が所管する文化施設が新たな拠点に期待すること_ソフト
(複数回答)



項目（※）	県に期待することの主な理由（抜粋）
A. 県民の文化活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ソフト面については、地域コミュニティとのつながりとして住民が気軽に集まり、文化活動の拠点となるための支援を期待しているため。
B. 子ども・若者向けの文化芸術教育・人材育成事業	<ul style="list-style-type: none"> 県民の文化活動を支援し、子ども向けの文化芸術教育を進めることで県民の芸術への関心を高め、地域の文化会館にも多くの方が足を運ぶような風土作りを期待する。
C. 県内各地域へのアウトリーチ、出前授業等の展開	<ul style="list-style-type: none"> 財政状況が厳しく規模の大きい事業が実施困難である。また、市単独では予算・人員面での対応が難しいため、補完してほしい。
D. 地域文化資源（伝統文化等）の支援	<ul style="list-style-type: none"> 各市町村でも伝統芸能を初めとする文化活動団体への支援等を行っているが、手の届きにくい部分もあるため、そういった範囲の支援活動を期待する。 地域の祭や芸能の担い手不足が課題となっており、その解決に向けた補助をしていただきたい。
F. 市町村との連携による共同事業・研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> 共同事業実施により経費の節減が期待できるため。 専門的な研修を受講できる機会が増加するため。
G. 市町村ホールに対する技術的支援	<ul style="list-style-type: none"> 専門的知識を有している職員がいないため、第三者(専門家)の意見を取り入れ、業務に反映させたい。
H. 文化芸術の調査・研究	<ul style="list-style-type: none"> 県内の文化芸術や伝統文化について、よりその歴史性などを掘り下げる相対的な調査の実施について検討してほしい。

※具体的な理由が得られた項目を中心に記載している。

VI. 国内の文化施設に係る事例調査

国内の文化施設について幅広く調査を実施しており、調査対象施設は以下の通りである。

■ 調査対象施設 ※順不同

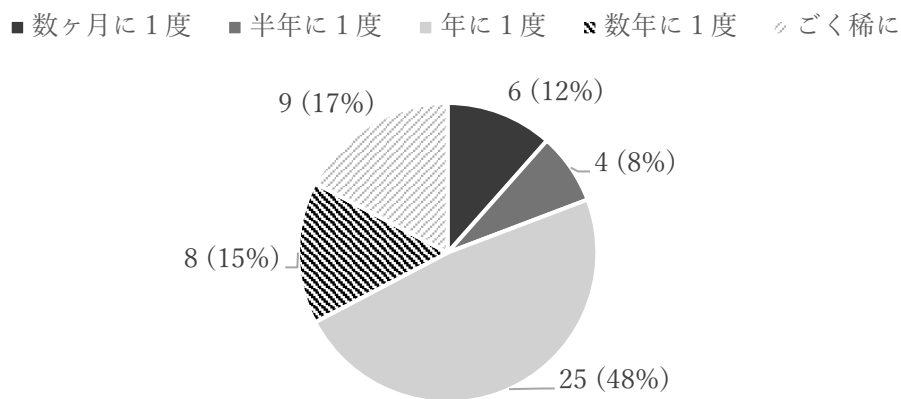
#	施設名	所在地
1	札幌文化芸術劇場 hitaru	北海道札幌市
2	札幌コンサートホール Kitara	北海道札幌市
3	あきた芸術劇場ミルハス	秋田県秋田市
4	秋田総合生活文化会館・美術館／アトリオン	秋田県秋田市
5	やまがたクリエイティブシティセンターQ1	山形県山形市
6	とうほう・みんなの文化センター／福島県文化センター	福島県福島市
7	パルセいいざか／福島市飯坂温泉観光会館	福島県福島市
8	けんしん文化センター／郡山市民文化センター	福島県郡山市
9	いわき芸術文化交流館／いわきアリオス	福島県いわき市
10	會津風雅堂	福島県会津若松市
11	茨城県立県民文化センター／ザ・ヒロサワ・シティ会館	茨城県水戸市
12	水戸市民会館	茨城県水戸市
13	栃木県総合文化センター	栃木県宇都宮市
14	宇都宮市文化会館	栃木県宇都宮市
15	彩の国さいたま芸術劇場	埼玉県さいたま市
16	立川ステージガーデン／Play！	東京都立川市
17	川崎市スポーツ・文化総合センター	神奈川県川崎市
18	新潟県民会館	新潟県新潟市
19	新潟市民芸術文化会館／りゅーとぴあ	新潟県新潟市
20	新潟テルサ／新潟勤労者総合福祉センター	新潟県新潟市
21	上越文化会館	新潟県上越市
22	長岡市立劇場	新潟県長岡市
23	長野県県民文化会館／ホクト文化ホール	長野県長野市
24	長野県松本文化会館／キッセイ文化ホール	長野県松本市
25	まつもと市民芸術館	長野県松本市
26	上田市交流文化芸術センター／サントミュージゼ	長野県上田市
27	愛知芸術劇場	愛知県名古屋市
28	可児市文化創造センターala	岐阜県可児市
29	箕面市立文化芸能劇場	大阪府箕面市
30	兵庫県立芸術文化センター	兵庫県西宮市
31	サンポートホール高松／高松市文化芸術ホール	香川県高松市
32	宮崎県立芸術劇場／メディキット県民文化センター	宮崎県宮崎市
33	熊本県立劇場	熊本県熊本市
34	熊本城ホール	熊本県熊本市

VII. 旧県民会館の利用団体向けアンケート調査（アンケート結果詳細）

過去3年間（令和4年度～令和6年度）に旧県民会館を利用した126団体に対し、令和7年8月4日（月）～8月22日（金）にアンケート調査を実施し、52団体から回答を得た（回答率約41.3%）。

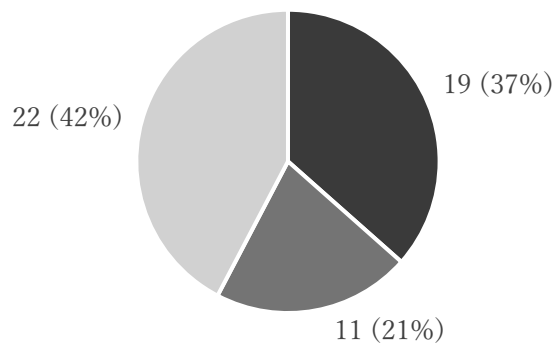
■ 旧県民会館の利用に係る調査（N=52）

図表VII-1 旧県民会館の利用頻度（単一回答）

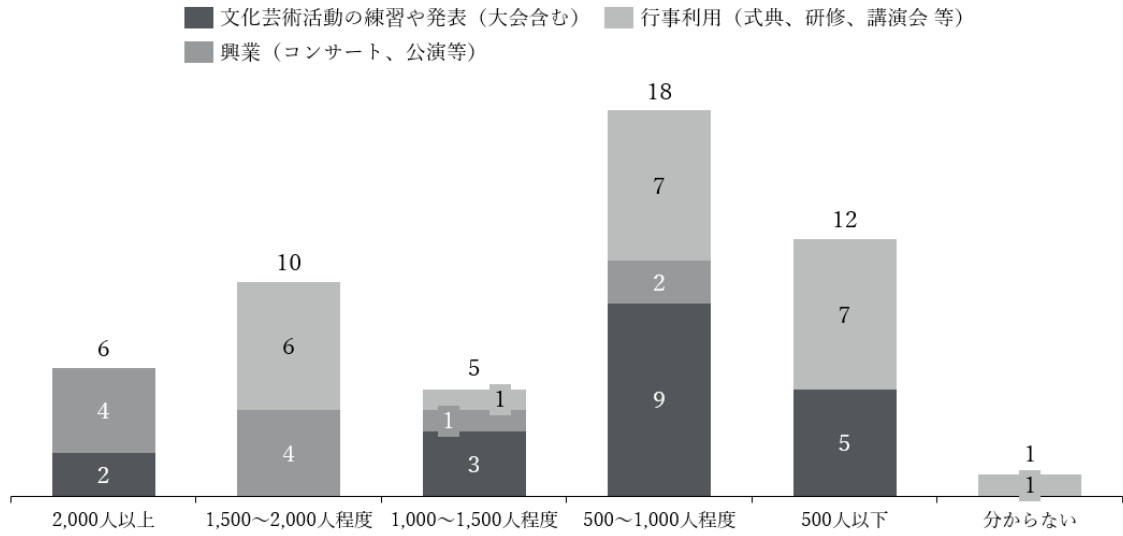


図表VII-2 旧県民会館の利用目的（単一回答）

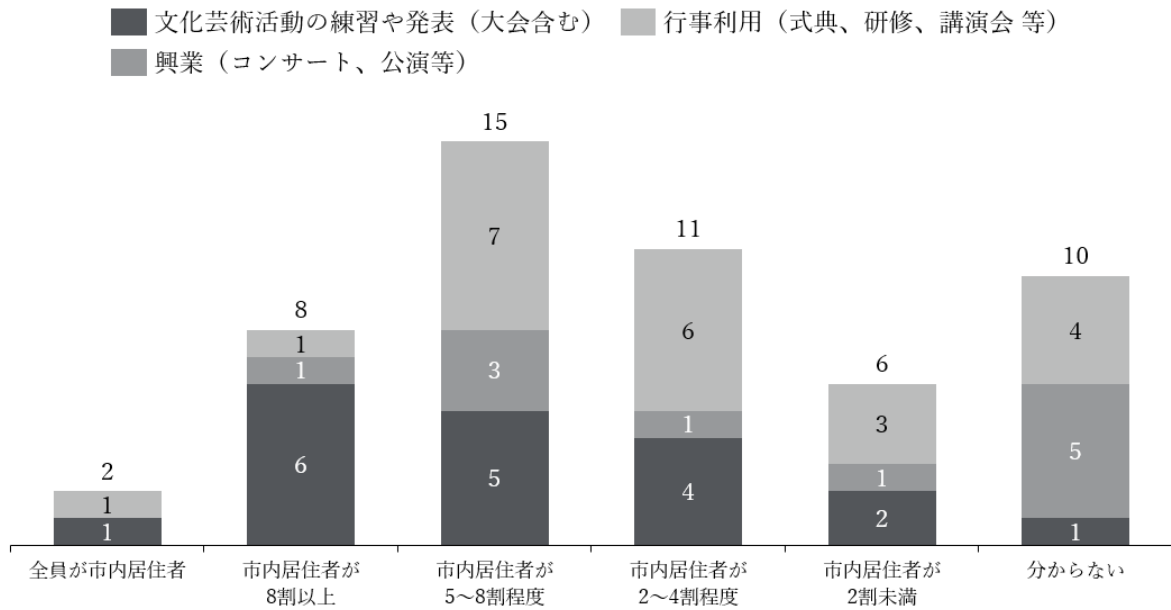
- 文化芸術活動の練習や発表（大会含む）
- 興業（コンサート、公演等）
- 行事利用（式典、研修、講演会等）



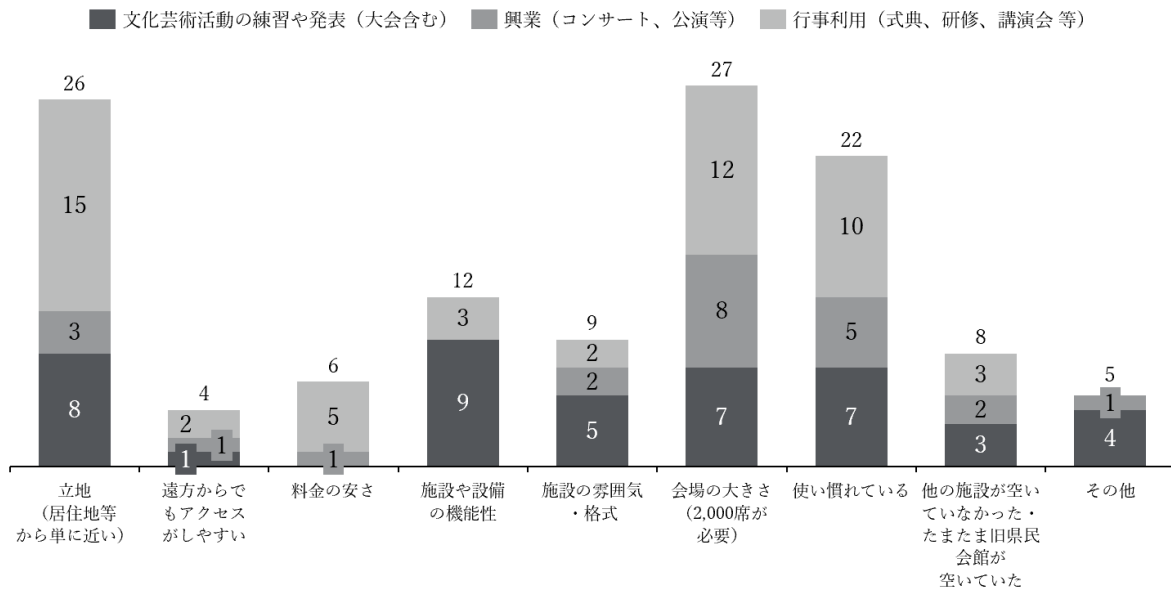
図表VII-3 イベントの参加人数（概算）（単一回答）



図表VII-4 イベント参加者のうち前橋市内居住者が占める割合（単一回答）



図表VII-5 旧県民会館を利用していた理由（複数回答）



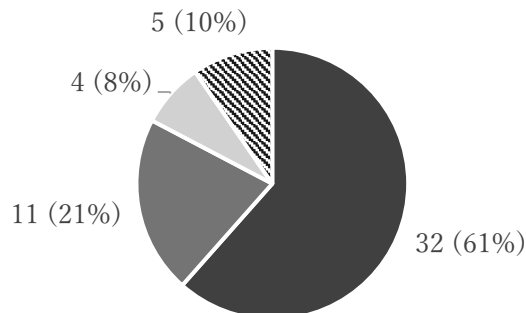
「その他」回答の詳細（抜粋）

- 県吹奏楽コンクールの会場だったため。
- 他に施設の選択肢が無かったため。

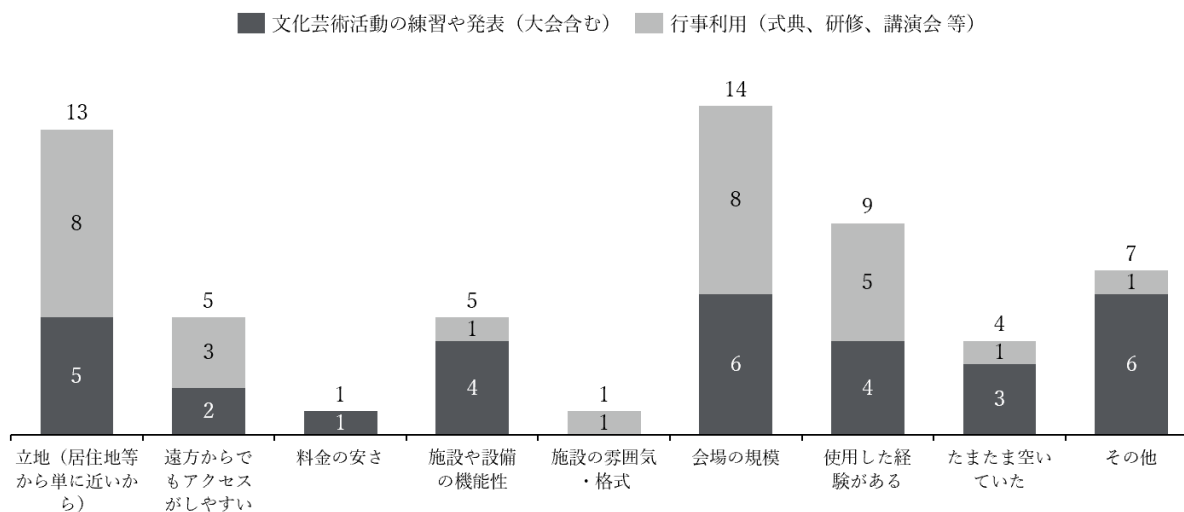
■ 旧県民会館廃止の影響に係る調査（N=52）

図表VII-6 旧県民会館で実施していたイベントの今年（令和7年）の実施予定（単一回答）

- 実施予定で、場所が決まっている
- 実施予定だが、場所は決まっていない
- 実施を予定していない
- 決まっていない



図表VII-7 今年（令和7年）実施予定のイベント会場を選定した理由（複数回答）

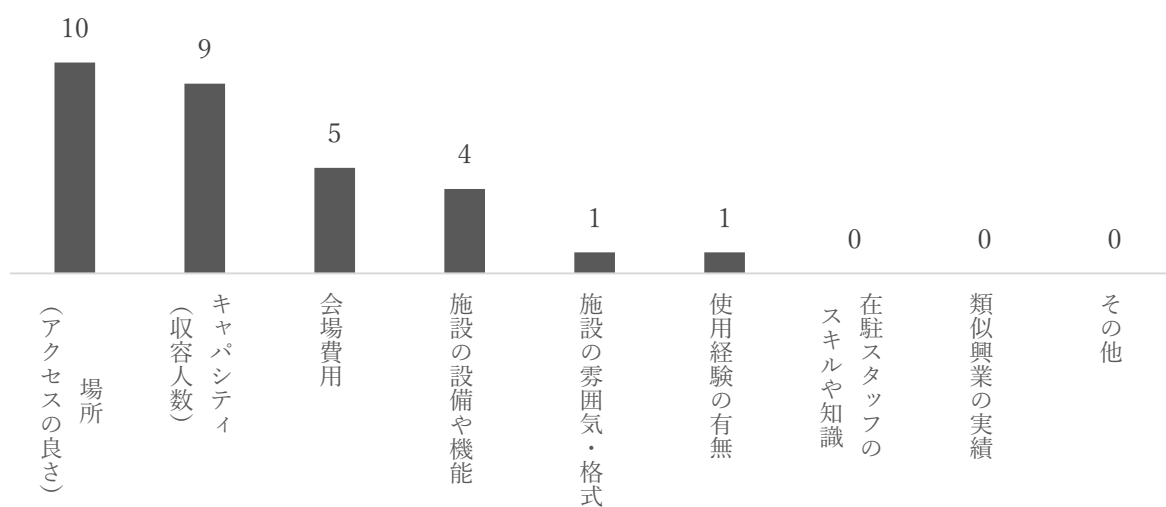


「その他」回答の詳細（抜粋）

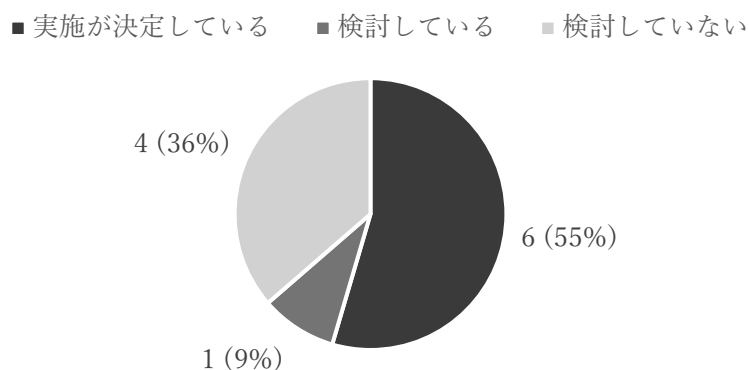
- 各市町村の会館がどこも空いていなかった。
- 県民会館が使えないため。
- 前橋市内にそこしかなかった。
- 2000人規模ではないが、指定管理者から、代替ホールとして紹介いただいた。
- 隣接した駐車場がある。

■ 興業に係る調査（N=11）

図表VII-8 地方での興行を行う際に、会場選定で優先すること（複数回答）

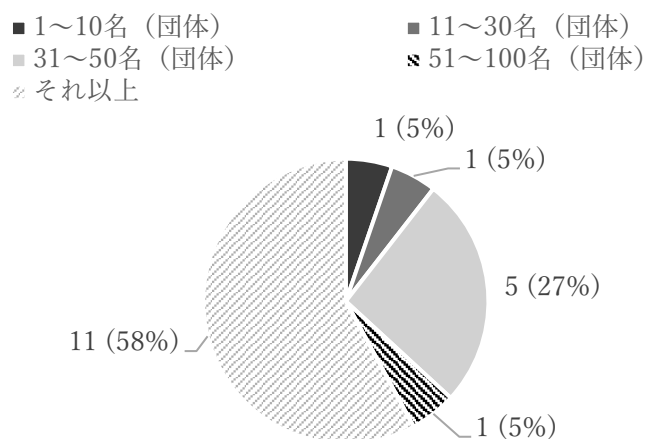


図表VII-9 旧県民会館での定期的なイベント以外の、県内における興行の検討状況
(単一回答)



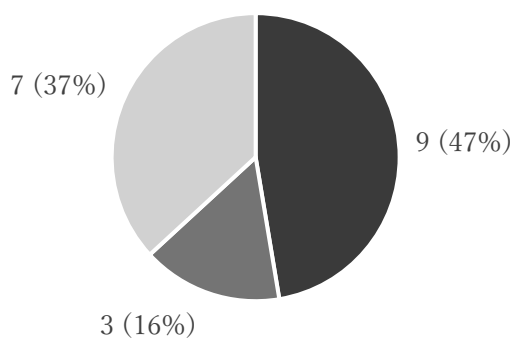
■ 文化芸術活動に係る調査 (N=19)

図表VII-10 団体のメンバー数 (団体数) (単一回答)

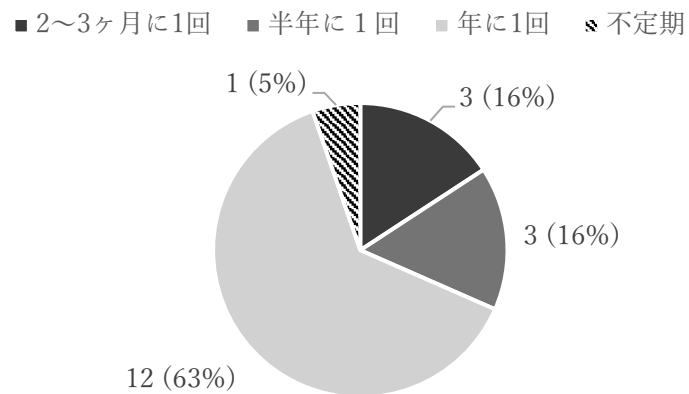


図表VII-11 団体の活動頻度 (単一回答)

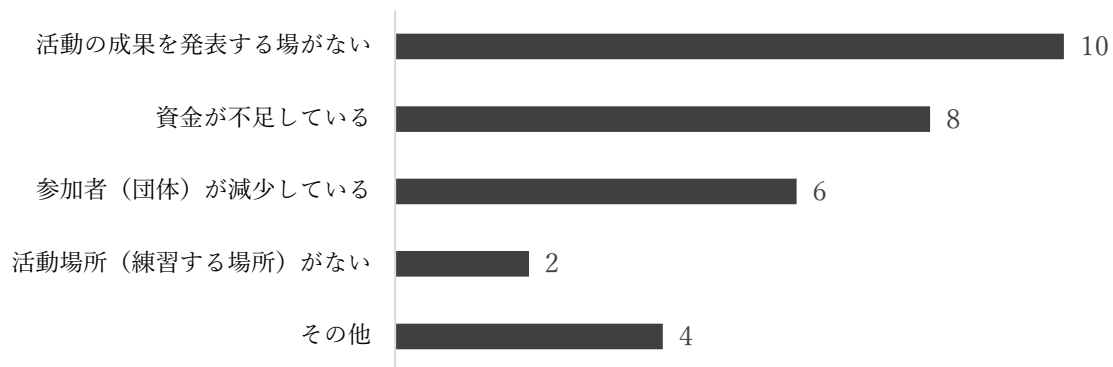
■ 毎日 ■ 週1回以上 ■ 不定期



図表VII-12 活動の成果を発表する頻度（会場を借りる場合）（単一回答）



図表VII-13 団体の活動における課題（複数回答）



「その他」回答の詳細（抜粋）

- 活動場所を今後どうするかが懸案事項。
- 中学校において吹奏楽が「部」として活動できるのか。吹奏楽として活動が継続できるのか。

VIII. 旧県民会館の活用可能性に係る調査

<回答項目> ※付きは必須回答項目。

回答者 属性	メール（自由記述）※
	名前（自由記述）※
	会社名（自由記述）※
	部署名（自由記述）※
	役職名（自由記述）※
	氏名（自由記述）※
	電話番号（自由記述）※
メールアドレス（自由記述）※	
利活用 意向	<p>問 1-1 旧県民会館を改修し、利活用する意向はありますか。 事業概要書 P.21 に記載の「旧県民会館を利活用する際の条件」を参照の上、ご回答ください。※</p> <p>（回答選択肢） ア：利活用の意向が全くない イ：条件によっては利活用の意向がある ウ：利活用する意向がある その他：自由記述</p>
	<p>問 1-2 旧県民会館を改修して利活用する可能性がない理由をご回答ください。（複数回答可）※</p> <p>（回答選択肢） ア：立地が悪い イ：建物の構造等の要因から他用途への転用が想定できない ウ：法令・条例等の法的制限が合わない エ：築年数が古すぎる又は施設の老朽化等が懸念される オ：事業採算性が合わない カ：利活用の条件（改修費の支援がない・固定資産税の減免措置がない等）が厳しい その他：自由記述</p>
	<p>問 1-3 旧県民会館を改修し、利活用する可能性がある理由をご回答ください。（複数回答可）※</p> <p>（回答選択肢） ア：立地が良い イ：需要・ニーズがあり、事業採算性が期待できる ウ：建物が魅力的である その他</p>
	<p>問 1-4 旧県民会館を改修する場合の施設の方向性として、考えられるものをご回答ください。 なお、事業概要書 P.21 に記載の「旧県民会館を利活用する際の条件」を踏まえた上</p>

	<p>でご回答ください。(複数回答可) ※</p> <p>(回答選択肢) ア：従来通り、文化ホールとしての機能を継続する イ：他の用途として活用する その他</p>
	<p>問 1-4 で「イ：他の用途として活用する」と選択した場合は、考えられる機能を具体的にご記入ください</p>
	<p>問 1-1 で「その他」と選択した場合は、理由を具体的にご記入ください</p>
	<p>問 2 旧県民会館を廃止し、県では「新しい文化拠点」を整備する方針です。地方の「文化拠点」に対して期待することやご意見・留意点等があれば、ご回答ください</p>
	<p>(参考) 旧県民会館を改修し、利活用する意向が全くない場合においても、その理由に関するヒアリングに協力いただくことは可能でしょうか。※ ご協力いただける範囲で構いません。</p> <p>(回答選択肢) 協力する 協力できない</p>
	<p>ヒアリングに協力いただけない場合、理由を差し支えない範囲で教えてください。</p>

<本報告書に主に活用した参照先>

該当章	出所	参照情報	参照 URL
II.1.(1)	文化庁	文化芸術基本法	https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/shokan_horei/kihon/geijutsu_shinko/index.html
II.1.(1)	文化庁	文化芸術基本計画	https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/hoshin/index.html
II.1.(1)	文化庁	文化芸術の振興に関する基本的な方針－文化芸術資源で未来をつくる－（第4次基本方針）（平成27年5月22日閣議決定）	https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/hoshin/kihon_hoshin_4ji/index.html
II.1.(1)	文化庁	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律について	https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/shokan_horei/geijutsu_bunka/gekijo_ongakudo/
II.1.(1)	文化庁	劇場、音楽堂等の事業の活性化のための取組に関する指針（平成25年文部科学省告示第60号）	https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/shokan_horei/geijutsu_bunka/gekijo_ongakudo/pdf/shishin.pdf
II.1.(1)	群馬県	G-VISION 2040 -新・群馬県総合計画-	https://gunma-v.jp/dbook/books/pdf/gvision2040_kihonkeikaku.pdf?2203
II.1.(1)	群馬県地域創生部文化振興課	群馬県文化基本条例	https://www.pref.gunma.jp/page/3788.html
II.1.(1)	群馬県地域創生部文化振興課	新・群馬県文化振興指針～アートの力で、他にはない価値を持ち、人々を惹きつける群馬の創造～	https://www.pref.gunma.jp/page/195957.html
II.1.(1)	群馬県地域創生部文化振興課	『群馬パーセントフォーアート』推進条例	https://www.pref.gunma.jp/uploaded/attachment/613713.pdf